静岡県　子どもの生活アンケート

調査報告書

令和元年 12 月

静　岡　県

静岡県　子どもの生活アンケート　調査報告書

目　　次

Ⅰ　調査概要 . . . 1

（１）調査の目的 . . . 1

（２）調査の項目 . . . 1

（３）調査の設計 . . . 1

（４）回収状況 . . . 1

（５）本調査における貧困層の定義 . . . 2

（６）調査概要 . . . 3

（７）報告書を見る際の注意事項 . . . 6

Ⅱ　調査結果（保護者） . . . **7**

１　ご家族について . . . **7**

（１）回答者の続柄 . . . 7

（２）世帯人数と児童人数 . . . 8

（３）同居家族 . . . 9

（４）要介護者・要介助者 . . . 10

（５）居住している住宅の種類 . . . 11

（６）頼れる親族や友人の有無 . . . 12

（７）両親の年齢 . . . 13

（８）両親の就労状況 . . . 14

（９）両親の帰宅時刻 . . . 16

(10) 両親の健康状態 . . . 17

(11) 両親の最終学歴 . . . 18

２　世帯の経済的な状況について . . . **19**

（１）世帯の手取り収入 . . . 19

（２）現在の暮らしの状況 . . . 21

（３）回答者が子どもの頃の暮らしの状況 . . . 22

３　お子さまとの関わり、習慣について . . . **23**

（１）子どもの基本的な生活・学習習慣 . . . 23

（２）子どもの習い事の状況 . . . 25

（３）回答者が希望する子どもの進学先 . . . 26

４　子どもを取り巻く環境・子育ての悩みについて . . . **29**

（１）子どもへの金品や機会等の提供 . . . 29

（２）経済的困窮の経験 . . . 32

（３）子どもについての悩みや不安 . . . 34

（４）子どもに関すること以外での心配や悩み事 . . . 36

（５）悩み事の相談相手 . . . 38

５　各種支援・サービスについて . . . **42**

（１）公的な支援制度の利用状況 . . . 42

（２）就学援助制度の利用状況 . . . 46

（３）現在利用している子育てなどに関する公的な支援制度の情報入手媒体 . . . 49

（４）今後利用したい子育てなどに関する公的な支援制度の情報入手媒体 50
（５）必要な公的な支援制度をもれなく受けられるようにするために重要だと思うこと 52
（６）子どもや子育てに関する支援施策の利用意向 53
（７）子どもたちが健やかに育っていくために必要な支援等への意見・要望（自由意見） 55

Ⅲ　調査結果（子ども） 57
＊ 回答者の属性 61
（１）学年 61
（２）居住地区 62
（３）性別 63
１　健康のことについて 64
（１）健康状態 64
（２）身長・体重 65
（３）就寝時刻 67
（４）歯みがき・入浴の頻度 68
（５）虫歯の状況 70
（６）発熱時や歯痛時の対応 71
２　ふだんの生活のことについて 72
（１）朝ごはんの摂取頻度 72
（２）食事の状況（一緒に食べる人の有無） 74
（３）平日の放課後過ごす場所 79
（４）平日の放課後の過ごし方 82
（５）所有物の状況 93
（６）身の周りの人との会話の状況 95
（７）地域の活動や行事への参加状況 97
（８）この１年間で出かけたことがある場所 99
３　学校や勉強のことについて 102
（１）学校生活での楽しみ 102
（２）学校の勉強の理解度 104
（３）将来の進学希望 105
４　ふだん感じていること 106
（１）自己肯定感 106
（２）困ったことがあったときの対応（相談相手の有無） 108
（３）今誰かに相談したいこと 110
（４）いじめや不登校等の経験 112
（５）子どものための施策や施設等の利用意向 114
（６）今一番やってみたいこと（自由意見） 116
Ⅳ　使用調査票 113
１　保護者調査 113
２　子ども調査 123

Ⅰ　調査概要

（１） 調査の目的

本県の子どもの貧困対策として関連する各分野における支援の在り方等を検討するに当たり、子どもや家庭の実態把握と支援ニーズの調査・分析を行い、その結果を今後の施策及び第二次子どもの貧困対策計画のための基礎資料として活用することを目的とします。

（２） 調査の項目

No.	保護者調査	子ども調査
1	ご家族について	健康のことについて
2	世帯の経済的な状況について	ふだんの生活のことについて
3	お子さまとの関わり、習慣について	学校や勉強のことについて
4	子どもを取り巻く環境・子育ての悩みについて	ふだん感じていること
5	各種支援・サービスについて	自由意見

（３） 調査の設計

調査対象	県内の小学５年生 2,500 人、中学２年生 2,500 人、その保護者 5,000 人 計 10,000 人分
調査方法	静岡市・浜松市：郵送配布・郵送回収（配布数約 4,000 部） 上記以外の市町：学校配布・学校回収（配布数約 6,000 部）
調査期間	令和元年７月 10 日～令和元年８月 31 日

（４） 回収状況

	保護者調査	子ども調査
配布数	5,000 人	5,000 人
有効回収数	3,385 人	3,389 人
有効回収率	67.7%	67.8%

（５） 本調査における貧困層の定義

厚生労働省が公表している算出方法では、等価可処分所得（世帯の可処分所得を世帯人員の平方根で割って調整した所得）の中央値の半分（貧困線）に満たない世帯を「相対的貧困層」としています。

本調査においては、問２で世帯人数を、問 11 で可処分所得についての回答を得ています。貧困線の算出方法は下記の通りですが、アンケート調査においてより多くの回答を得るため、可処分所得を数値で記入するのではなく、50 万円区分の選択方式にて回答いただきました。

このため、平成 28 年国民生活基礎調査（厚生労働省）分析結果の貧困線を参考に、世帯人員別の貧困層区分を下記のように設定しました。

＜世帯人数ごとの貧困層となる区分＞

（問２）世帯人数	国調査における貧困線	貧困層となる区分	（問11）1～2 100万円未満	3～4 100万円～200万円未満	5 200万円～250万円未満	6 250万円～300万円未満	7 300万円～350万円未満	8 350万円～400万円未満	9～11 400万円～550万円未満	12～14 550万円～700万円未満	15～17 700万円～850万円未満	18～20 850万円～1000万円未満	21 1000万円以上	22 わからない	無回答
２人	173万円	200万円未満													
３人	211万円	200万円未満													
４人	244万円	250万円未満													
５人	273万円	250万円未満													
６人	299万円	300万円未満													
７人	323万円	300万円未満													
８人以上	345万円	350万円未満													
無回答															

貧困層（貧困層に相当する世帯）　非貧困層（貧困層に相当しない世帯）

・有効回答3,385件の内訳

判定可能：2,987件　　判定不可：　398件

・判定可能回答2,987件より

貧困層に相当する世帯　：　307件（10.3%）

貧困層に相当しない世帯：2,680件（89.7%）

※本結果は目安であり、貧困層世帯に該当したすべての世帯が、必ずしも実際の生活で困難を抱えているというわけではありません。

（６） 調査概要

１　集計区分について

①　生活困難状況別

回収された３，３８５世帯（保護者回答）のうち、等価可処分所得の算出が可能な２，９８７世帯について、平成 28 年国民生活基礎調査の世帯人数別の貧困線を境界とし、２区分としました。

貧困層に相当する世帯：３０７　　貧困層に相当しない世帯：２，６８０

②　世帯構成別

保護者の有効回答数を、同居している家族構成の状況により４区分としました。

父子世帯：23　　母子世帯：180　　ふたり親世帯：２，９８９　　その他：180

２　保護者

①　ご家族について

同居家族について、貧困層に相当する世帯では「父親」が 50％を下回っている一方で、「祖父」「祖母」が多くなっており、生活を支援してもらっている状況がうかがわれます。

世帯構成について、貧困層に相当する世帯では「母子世帯」が３割以上となっている一方で、約半数の「ふたり親世帯」も貧困層に相当する世帯となっています。

居住している住宅の種類について、貧困層に相当する世帯・母子世帯ともに「民間賃貸住宅」が多くなっています。

父親の就労状況について、貧困層に相当する世帯では「正社員・正規職員」が少なく、「自営業」が多くなっています。また、**母親の就労状況**について、貧困層に相当する世帯では「嘱託・契約社員・準社員」が多くなっていることから、安定して収入を得られていない可能性があることがうかがわれます。

②　世帯の経済的な状況について

現在の暮らしの状況について、貧困層に相当する世帯・母子世帯ともに、『苦しい』（「大変苦しい」＋「やや苦しい」）が７割以上となっており、生活の困難さがうかがわれます。

③　お子さまとの関わり、習慣について

子どもの基本的な生活・学習習慣について、貧困層に相当する世帯・母子世帯ともに、〔①決まった時間に起床する〕〔②決まった時間に就寝する〕〔③毎日朝食を食べる〕で『できていない』（「あまりできていない」＋「できていない」）が多くなっています。

子どもの習い事の状況について、貧困層に相当する世帯・母子世帯ともに、「特にしていない」が多くなっており、余裕が少ないことがうかがわれます。

回答者が希望する子どもの進学先について、貧困層に相当する世帯・母子世帯ともに、「高等学校」が多くなっており、大学進学が難しい状況にあることがうかがわれます。

④　子どもを取り巻く環境・子育ての悩みについて

子どもへの金品や機会等の提供について、貧困層に相当する世帯では〔①毎月お小遣いを渡す〕〔③習い事（音楽・スポーツ・習字など）に通わせる〕〔④学習塾に通わせる〕〔⑩１年に一回くらい家族旅行に行く〕で「経済的にしていない」が多くなっています。また、母子世帯では上記の項目に加えて、〔②毎年新しい洋服・靴を買う〕〔⑦子ども用のスポーツ用品・おもちゃを買う〕も多くなっています。

過去一年間の経済的困窮の経験の有無について、貧困層に相当する世帯では11項目中８項目で『あった』（「何度かあった」＋「頻繁にあった」）が多く、〔⑪生活費が不足し、親族や金融機関からお金を借りた〕〔②必要な服が買えなかった〕では約４分の１を占めています。また、母子世帯では11項目中９項目で『あった』が多く、〔⑪生活費が不足し、親族や金融機関からお金を借りた〕〔②必要な服が買えなかった〕が３割以上となっており、経済的な逼迫を抱えていることがうかがわれます。

子どもについての悩みや不安について、貧困層に相当する世帯・母子世帯ともに、「お子さまに対するしつけや教育に自信が持てない」「お子さまの進学や受験のことが心配である」が多くなっています。加えて、母子世帯では「お子さまが勉強しない」も多くなっており、勉強についての悩みや不安が大きいことがうかがわれます。

子どもに関すること以外での心配や悩み事について、貧困層に相当する世帯・母子世帯ともに、「収入や家計・借金など」「自分の仕事」「住まいや生活環境」が多くなっており、生活への影響が大きいと思われる内容となっています。

⑤　各種支援・サービスについて

公的な支援制度の利用状況について、貧困層に相当する世帯・母子世帯ともに、〔②児童扶養手当〕〔⑪母子家庭等医療費助成〕で「利用している」が多くなっています。加えて、母子世帯では〔⑧高等学校等奨学給付金〕〔⑫放課後児童クラブ〕で「利用している」が多くなっています。一方、『利用意向はあるが利用していない』（「利用したいが基準にあてはまらない」＋「利用するのがためらわれた」＋「利用したいがどこに相談すればよいか分からない」）」は、母子世帯で〔②児童扶養手当〕〔④母子父子寡婦福祉資金貸付〕〔⑥生活保護〕〔⑨自立支援教育訓練給付金〕〔⑪母子家庭等医療費助成〕が多くなっており、経済的な支援を求めていることがうかがわれます。

子どもや子育てに関する支援施策について、貧困層に相当する世帯・母子世帯ともに、〔①こども食堂（無料または安価で食事を提供する食堂）〕〔②食の支援（フードバンクなど食料の無料提供）〕で「利用意向あり」（「利用したい」）が多くなっており、食料面での支援を望んでいることがうかがわれます。一方、〔⑦文化・芸術鑑賞・スポーツ観戦等支援（美術館、博物館・スポーツなどの鑑賞・観戦費用補助など）〕は、貧困層に相当する世帯・母子世帯ともに、「利用意向なし」（「必要ない」）が多くなっており、優先する支援施策の順位が低いことがうかがわれます。

３　子ども

①　健康のことについて

虫歯の状況について、貧困層に相当する世帯では、貧困層に相当しない世帯と比較すると、「虫歯はない」が少なくなっています。また、父子世帯・母子世帯ともに、ふたり親世帯と比較すると、「虫歯はない」が少なくなっています。

②　ふだんの生活のことについて

朝ごはんの摂取頻度について、貧困層に相当する世帯では、貧困層に相当しない世帯と比較すると、「毎日」が少なくなっています。また、父子世帯・母子世帯ともに、ふたり親世帯と比較すると、「毎日」が少なくなっています。

学校のある日の朝ごはん・学校のない日の朝ごはんの状況について、母子世帯では「ひとりで食べる」が多くなっています。また、**学校のある日の夕ごはん・学校のない日の夕ごはんの状況**について、母子世帯では「親と食べる」が少なくなっており、孤食の傾向がうかがわれます。

平日（学校のある日）の放課後に過ごすことが多い場所について、貧困層に相当する世帯では「じぶんの家（親などの大人といる)」が少なくなっています。また、母子世帯では「じぶんの家（大人はいないが兄弟といる)」が多くなっており、保護者が働いているため、親などの大人といる時間が少なくなっていることがうかがわれます。

所有物の状況について、貧困層に相当する世帯では〔④家で集中して勉強ができる場所〕で、母子世帯では〔④家で集中して勉強ができる場所〕〔⑦ゲーム機（ニンテンドースイッチなど)〕で所有希望あり（「持っていないがほしい」）が多くなっています。

この１年間で出かけたことがある場所について、貧困層に相当する世帯では、貧困層に相当しない世帯と比較すると、「友だちの家」を除いたすべての項目で少なくなっています。

③　学校や勉強のことについて

学校の勉強の理解度について、貧困層に相当する世帯では、貧困層に相当しない世帯と比較すると、『わかる』（「ほとんどわかる」＋「だいたいわかる」）が少なくなっています。また、**将来の進学希望**について、貧困層に相当する世帯では、貧困層に相当しない世帯と比較すると、「大学・大学院まで」が少なくなっています。

④　ふだん感じていること

自己肯定感を高く感じている人のうち、貧困層に相当する世帯・母子世帯ともに、いずれの項目も全体と比較すると少なくなっていますが、特に〔④自分は価値のある人間だと思う〕が少なくなっています。

今誰かに相談したいことについて、ふたり親世帯と比較すると、母子世帯では「学校や勉強のこと」が多くなっています。

子どものための施策や施設等の利用意向について、母子世帯では〔①家のひとがいないとき、夕ご飯を用意してくれる場所〕が多くなっています。

（７） 報告書を見る際の注意事項

※回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。

※百分率は小数点以下第２位を四捨五入して算出しました。このため、百分率の合計が 100%にならないことがあります。

※１つの質問に２つ以上答えられる“複数回答可能”の場合は、回答比率の合計が 100%を超える場合があります。

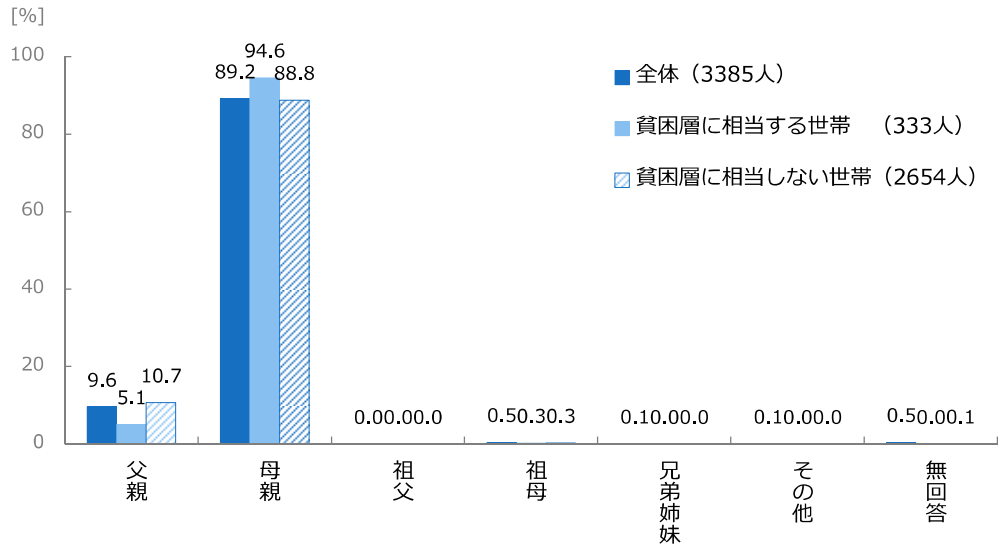
※グラフにおいて、選択肢を省略して掲載している場合があります。

Ⅱ　調査結果（保護者）

1　ご家族について

（1） 回答者の続柄

問１　あなた（ご回答者）の、お子さまからみた続柄についてお答えください。（1 つに○）

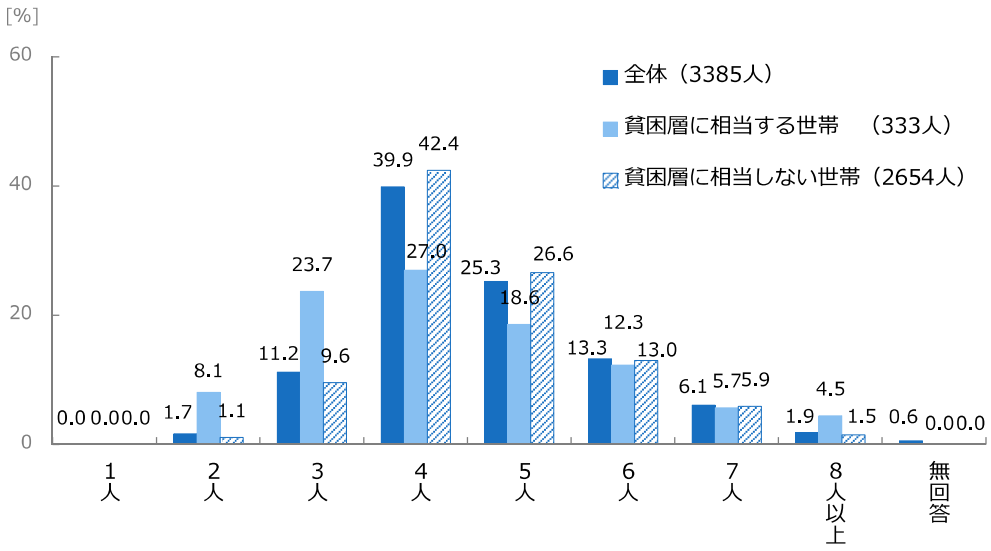


回答者の続柄（子どもからみた）は、「母親」89.2%が最も多く約９割を占め、次いで「父親」9.6%が約１割となっています。

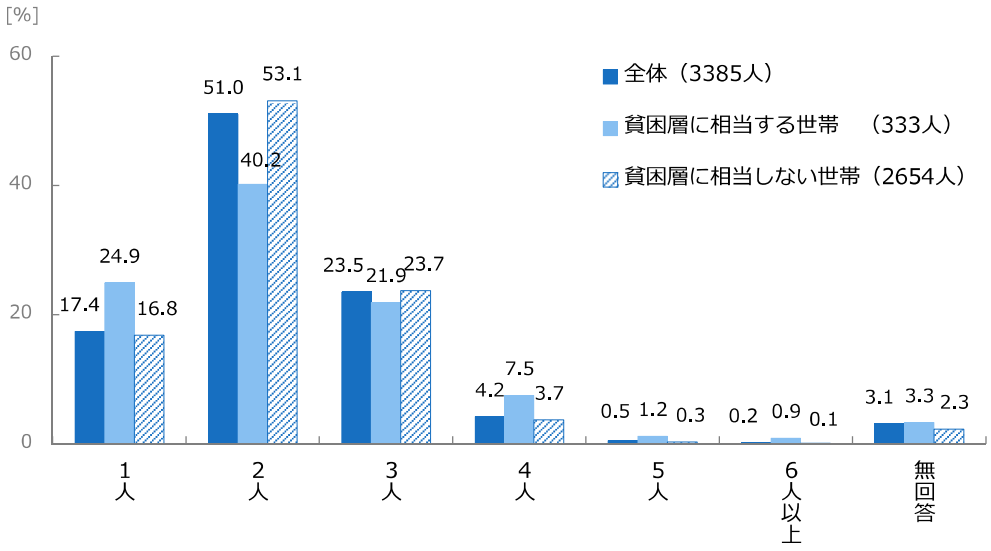
（２） 世帯人数と児童人数

問２　あなたの世帯について、令和元年７月１日時点の、ご家族の人数を教えてください。（人数を記入）

＊一緒に住んでいる人数（あなたとお子さまを含めた）



＊そのうち子ども（18 歳未満）の人数



世帯人数は、「４人」39.9%が最も多く、以下「５人」25.3%、「６人」13.3%、「３人」11.2%、「７人」6.1%となっています。

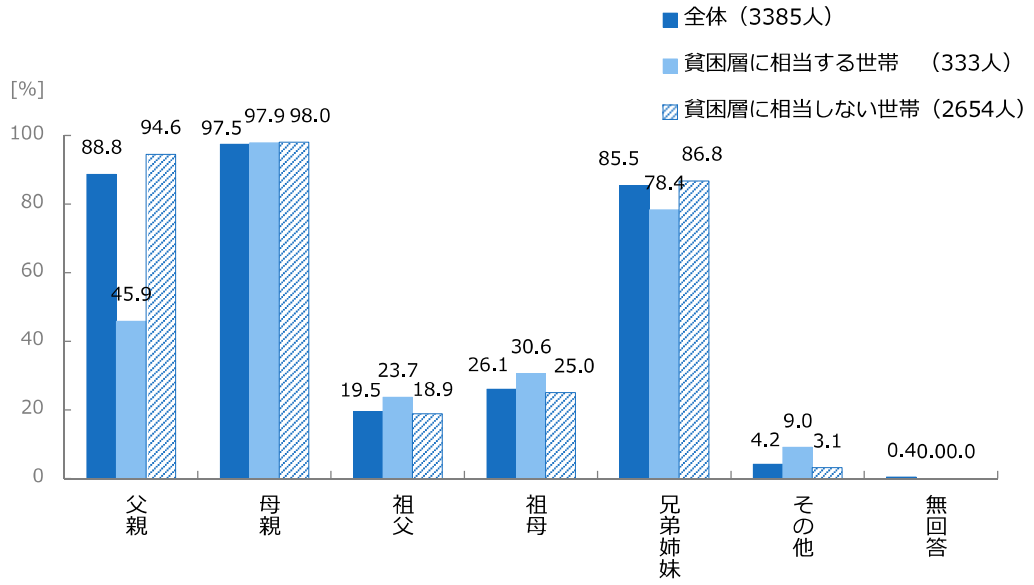
生活困難状況別でみると、貧困層に相当する世帯では「２人」8.1%と「３人」23.7%が、貧困層に相当しない世帯では「４人」42.4%と「５人」26.6%が比較的多くなっています。

世帯人数のうち、18 歳未満の子どもの人数は、「２人」51.0%が最も多く約半数を占めています。以下「３人」23.5%、「１人」17.4%、「４人」4.2%となっています。

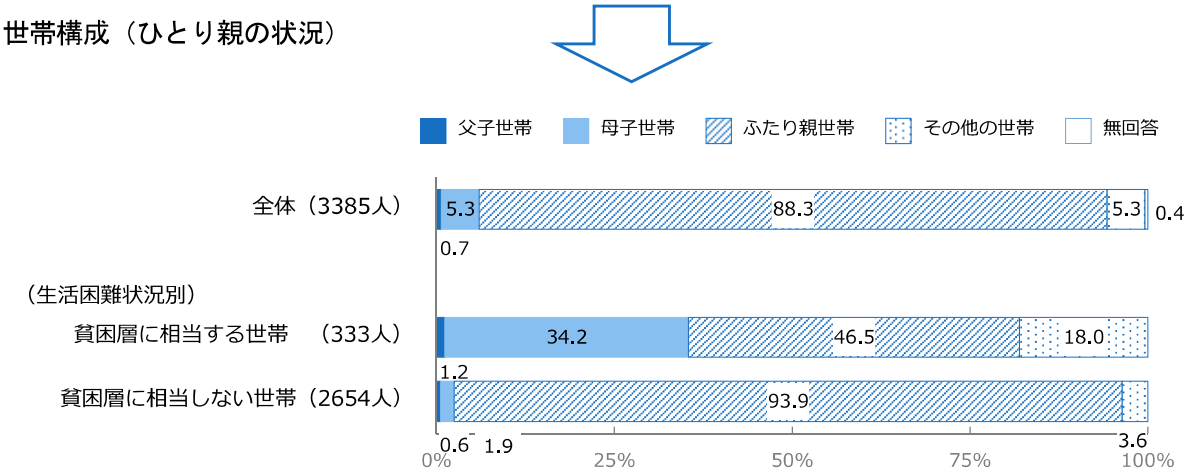
生活困難状況別でみると、貧困層に相当する世帯では「１人」24.9%が、貧困層に相当しない世帯では「２人」53.1%が比較的多くなっています。

（３） 同居家族

問３　あなたの世帯はどなたと一緒に暮らしていますか。お子さまからみた続柄でお答えください。
（あてはまるものすべてに○）



＊世帯構成（ひとり親の状況）



同居している家族の続柄は、「母親」97.5%が最も多く、以下「父親」88.8%、「兄弟姉妹」85.5%、「祖母」26.1%、「祖父」19.5%となっています。

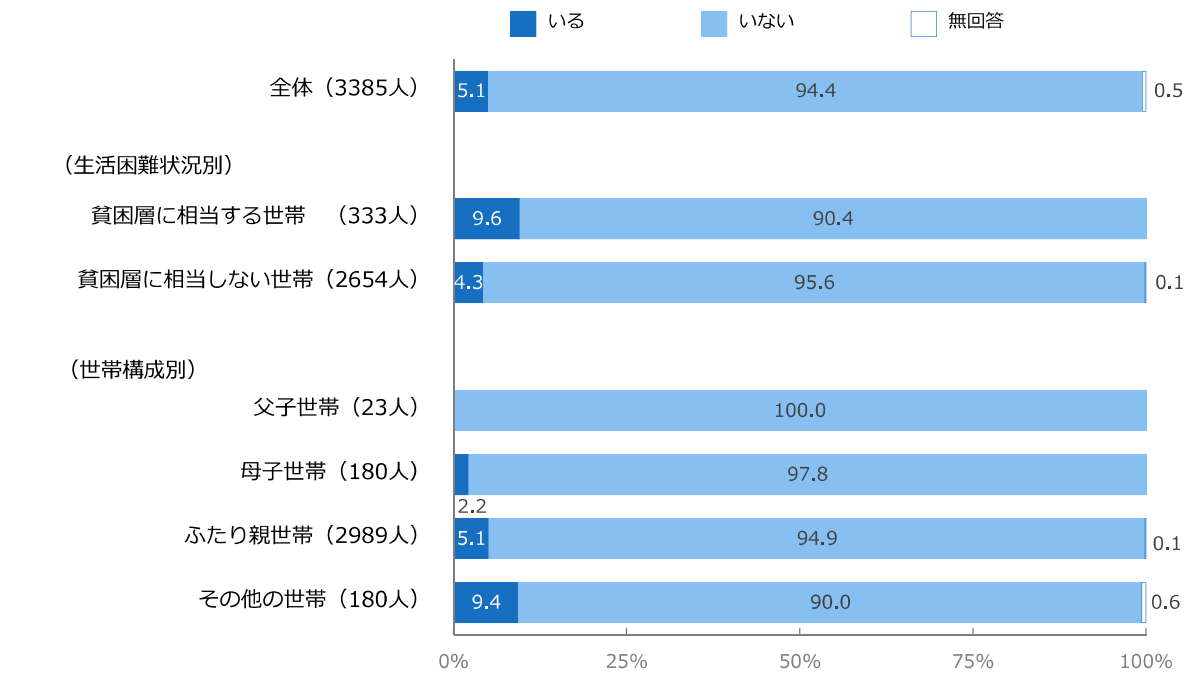
生活困難状況別でみると、貧困層に相当する世帯では「父親」45.9%が少なく、「祖父」23.7%と「祖母」30.6%が比較的多くなっています。

世帯構成（ひとり親の状況）は、「ふたり親世帯」88.3%が最も多く、以下「母子世帯」と「その他の世帯」各5.3%、「父子世帯」0.7%と続き、「母子世帯」と「父子世帯」を合わせた『ひとり親世帯』は6.0%となっています。

生活困難状況別でみると、貧困層に相当する世帯では「母子世帯」34.2%と「その他の世帯」18.0%が比較的多くなっています。

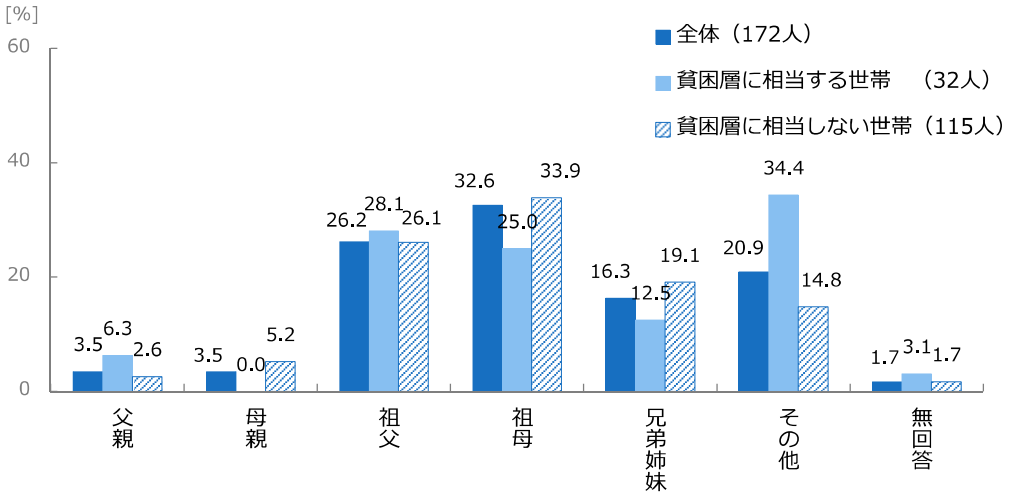
（４） 要介護者・要介助者

問４　あなたの世帯のご家族の中に、介護や介助が必要な方はいますか。（１つに○）



（問４で「１」を選んだ方におうかがいします。）

問４－１　お子さまからみて、介護や介助が必要な方はどなたですか。（１つに○）



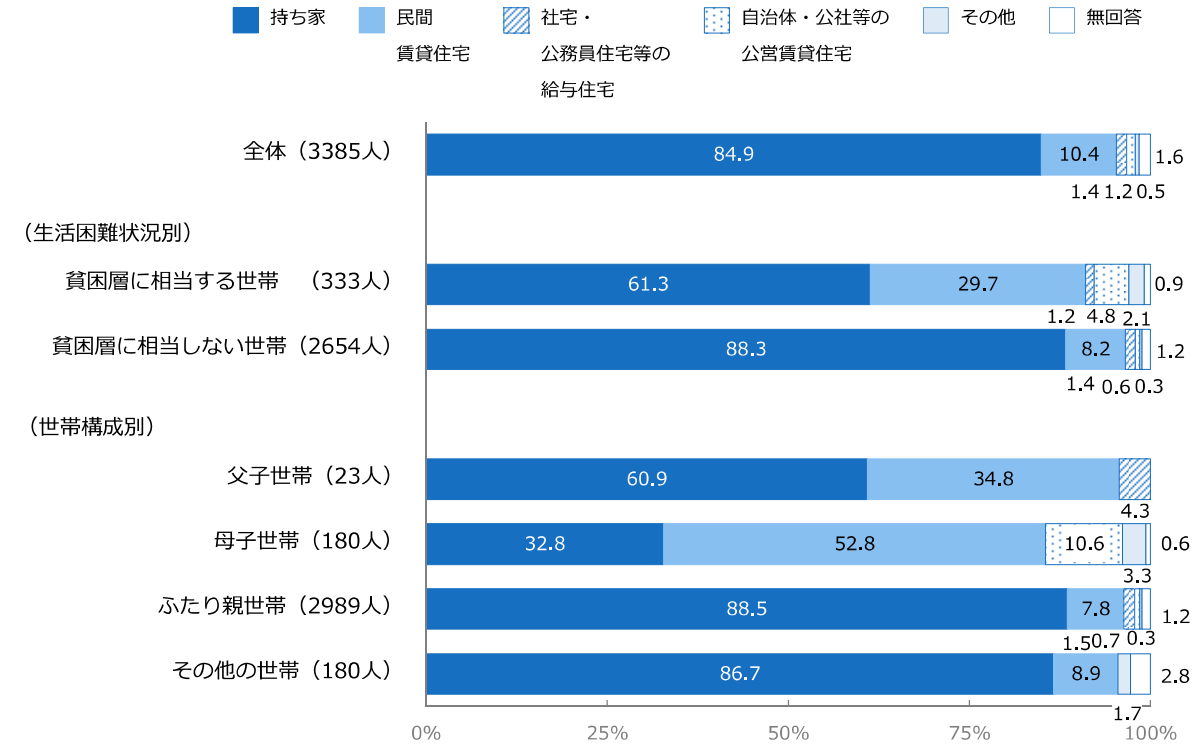
同居している家族の中で要介護者・要介助者の有無は、「いない」94.4%が大多数を占めています。
生活困難状況別でみると、貧困層に相当する世帯では「いる」9.6%が比較的多くなっています。
世帯構成別でみると、その他の世帯では「いる」9.4%が比較的多くなっています。

同居家族に要介護者・要介助者がいると回答した人（172 人）の、**要介護者・要介助者の続柄**（子どもからみた）は、「祖母」32.6%が最も多く、以下「祖父」26.2%、「その他」20.9%、「兄弟姉妹」16.3%となっています。

生活困難状況別でみると、貧困層に相当する世帯では「その他」34.4%が比較的多くなっています。

（５） 居住している住宅の種類

問５　現在お住まいの住宅の種類についてお答えください。（１つに○）



居住している住宅の種類は、「持ち家」84.9%が最も多く８割以上を占め、次いで「民間賃貸住宅」10.4%が約１割となっています。

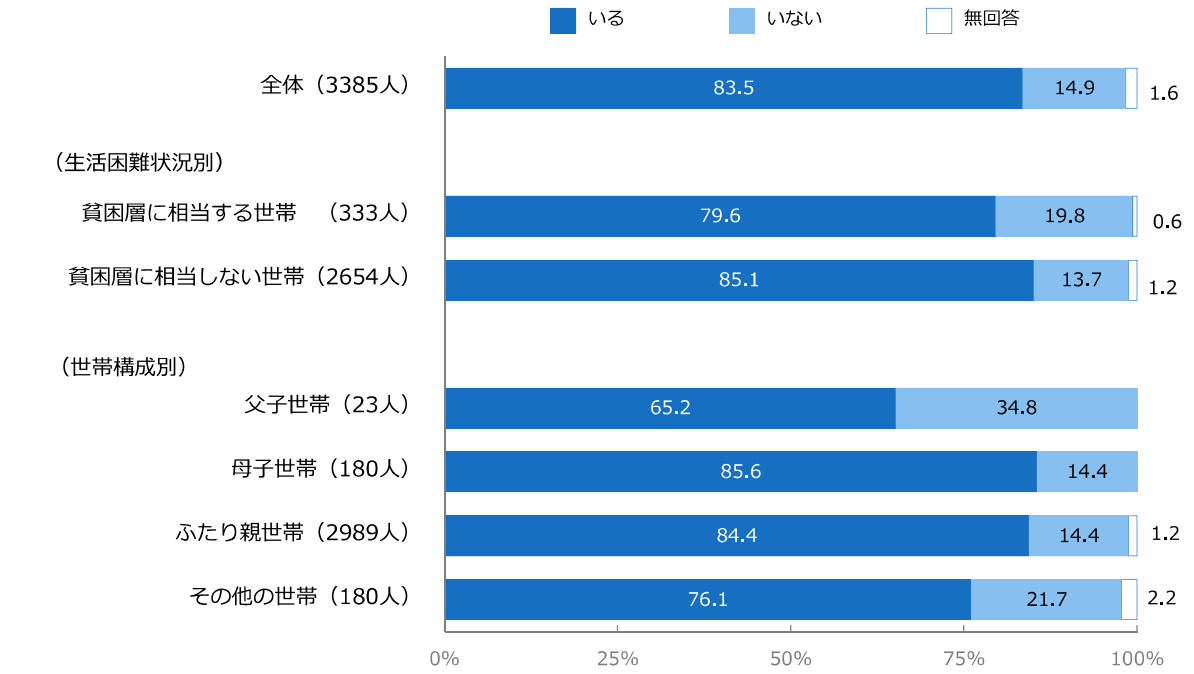
生活困難状況別でみると、貧困層に相当する世帯では「民間賃貸住宅」29.7%が比較的多くなっています。

世帯構成別でみると、母子世帯では「民間賃貸住宅」52.8%が比較的多くなっています。

※世帯構成別の『父子世帯』については、該当する世帯が少数（23 人）のため、属性別での分析はせず、参考程度とします。

（６） 頼れる親族や友人の有無

問６　お子さまが病気のときや、ご自身の用事のときなどに頼れる同居していない親族や友人はいますか。（１つに○）



お子さまが病気のときや、ご自身の用事のときなどに**頼れる同居していない親族や友人の有無**は、「いる」83.5%、「いない」14.9%となっています。

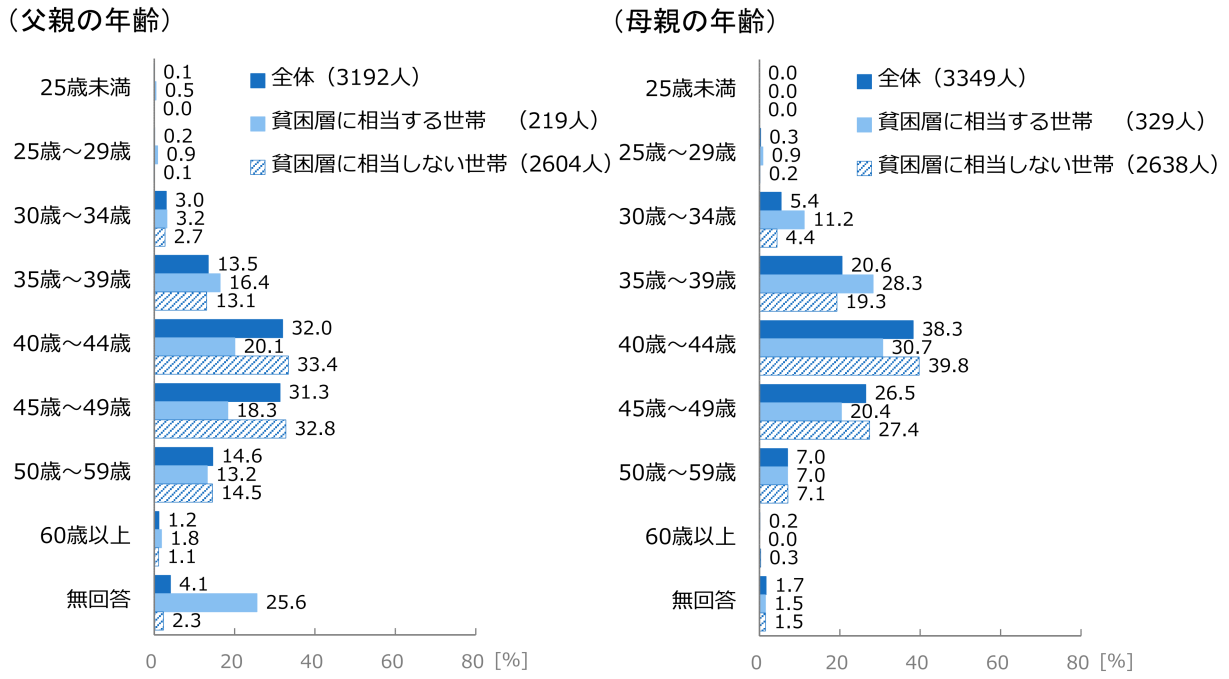
生活困難状況別でみると、貧困層に相当する世帯では「いない」19.8%が比較的多くなっています。

世帯構成別でみると、その他の世帯では「いない」21.7%が比較的多くなっています。

お子さまのご両親についておうかがいします。
（ひとり親家庭の場合は、あてはまる方にだけお答えください。）
（ご両親以外の方がお子さまを養育している場合は問７～10 は回答不要。）

（７） 両親の年齢

問７　お子さまのご両親の年齢についてお答えください。（それぞれ番号を１つ記入）



父親の年齢は、「40 歳～44 歳」32.0%が最も多く、以下「45 歳～49 歳」31.3%、「50 歳～59 歳」14.6%、「35 歳～39 歳」13.5%となっています。

生活困難状況別でみると、貧困層に相当しない世帯では「40 歳～44 歳」と「45 歳～49 歳」が比較的多くなっています（40 歳～44 歳：33.4%、45 歳～49 歳：32.8%）。

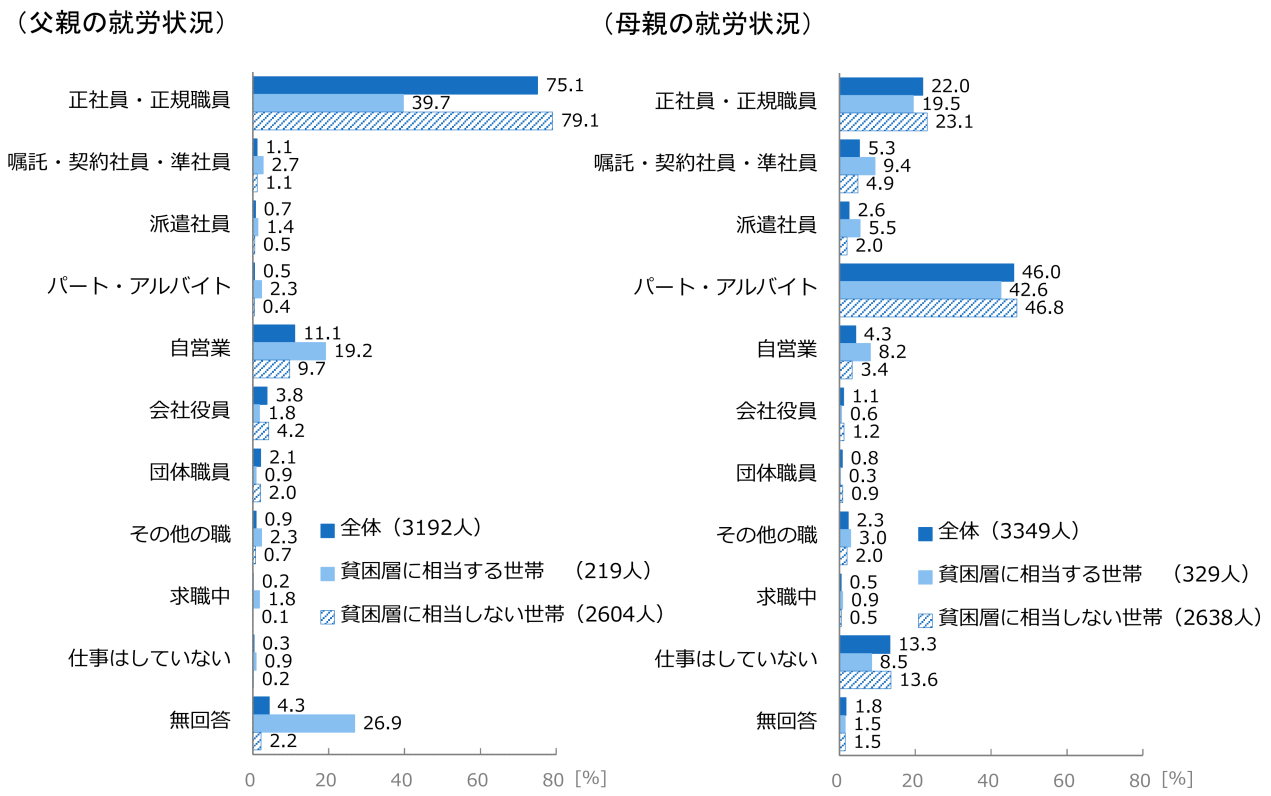
母親の年齢は、「40 歳～44 歳」38.3%が最も多く、以下「45 歳～49 歳」26.5%、「35 歳～39 歳」20.6%、となっています。

生活困難状況別でみると、貧困層に相当する世帯では「30 歳～34 歳」「35 歳～39 歳」が比較的多くなっています（30 歳～34 歳：11.2%、35 歳～39 歳：28.3%）。

（８） 両親の就労状況

問８　お子さまのご両親の主なお仕事についてお答えください。（それぞれ番号を１つ記入）

※現在、産休・育休・その他休業中の場合は、復職される際の状況でお答えください。

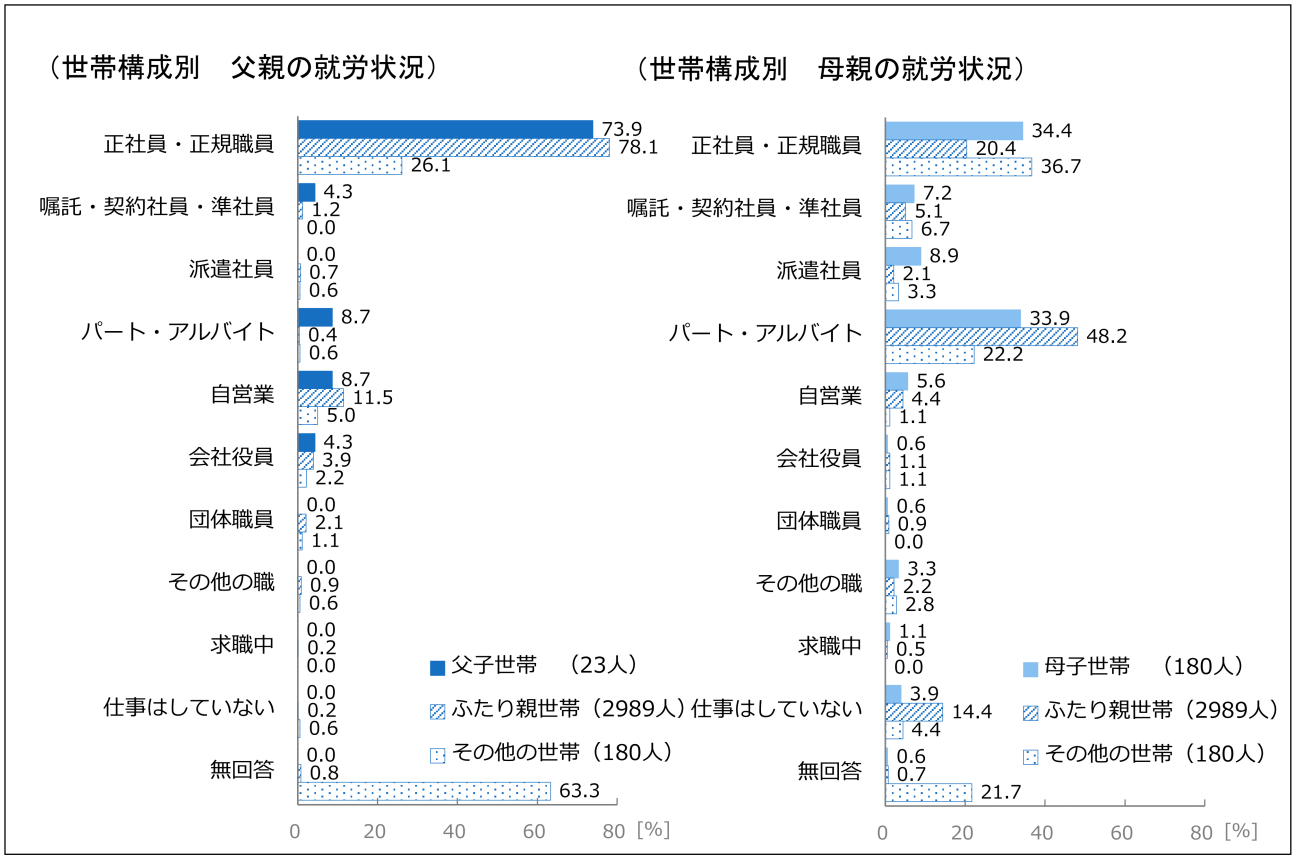


父親の就労状況は、「正社員・正規職員」75.1%が最も多く約４分の３を占め、次いで「自営業」11.1%となっています。

生活困難状況別でみると、貧困層に相当する世帯では「正社員・正規職員」39.7%が少なく、「自営業」19.2%が比較的多くなっています。

母親の就労状況は、「パート・アルバイト」46.0%が最も多く、以下「正社員・正規職員」22.0%、「仕事はしていない」13.3%となっています。

生活困難状況別でみると、貧困層に相当する世帯では「嘱託・契約社員・準社員」9.4%が比較的多くなっています。

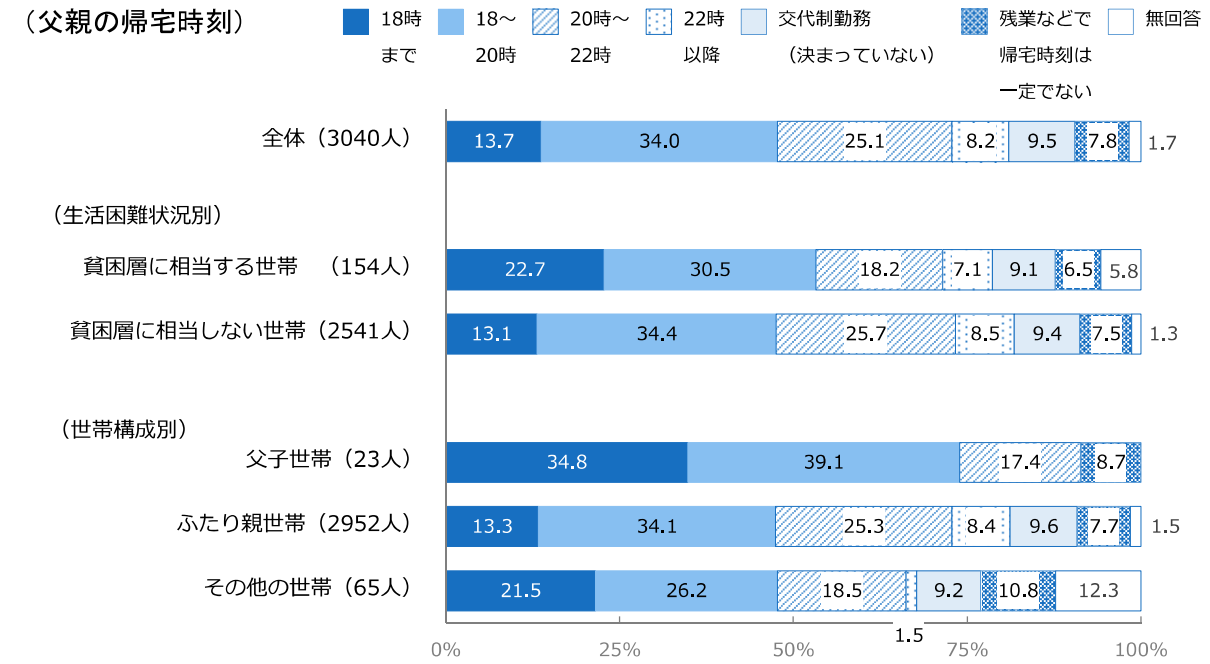


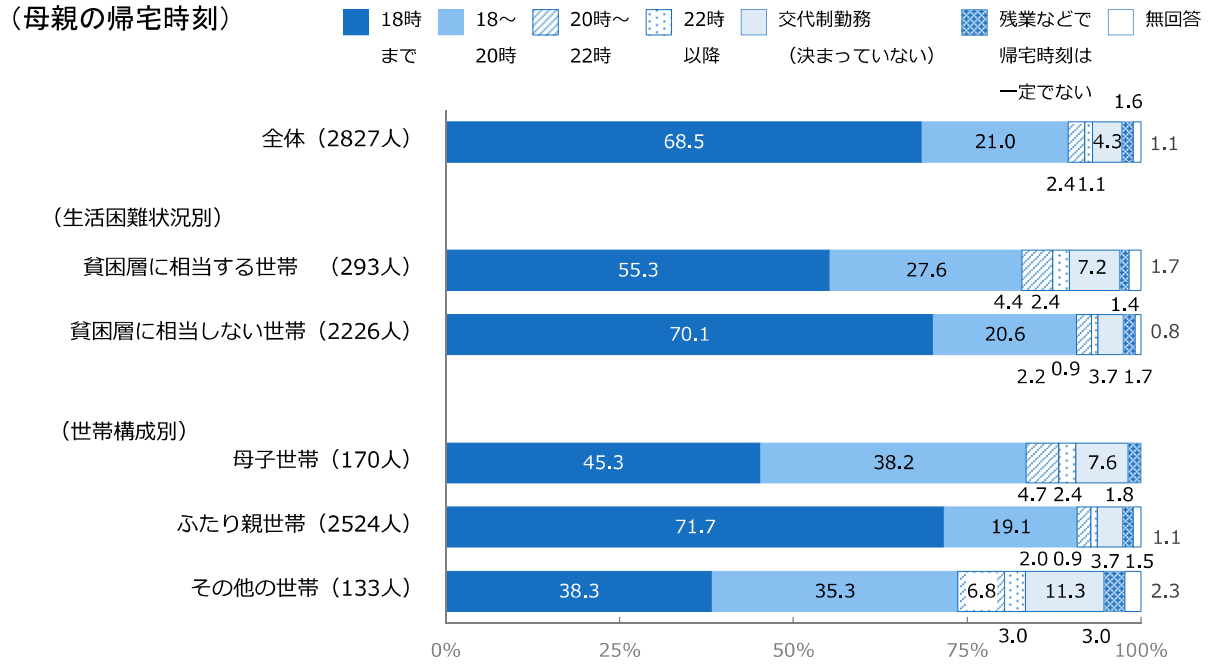
母親の就労状況を世帯構成別でみると、母子世帯とその他の世帯では「正社員・正規職員」が比較的多くなっています（母子世帯：34.4%、その他の世帯：36.7%）。

（９） 両親の帰宅時刻

（問８で「１」～「８」を選んだ方におうかがいします。）

問８－１　お子さまのご両親の普段の帰宅時刻で、最も多い時間帯を選んでください。（それぞれ番号を１つ記入）　※ご自宅が仕事場の場合は、お仕事が終わる時間を選んでください。





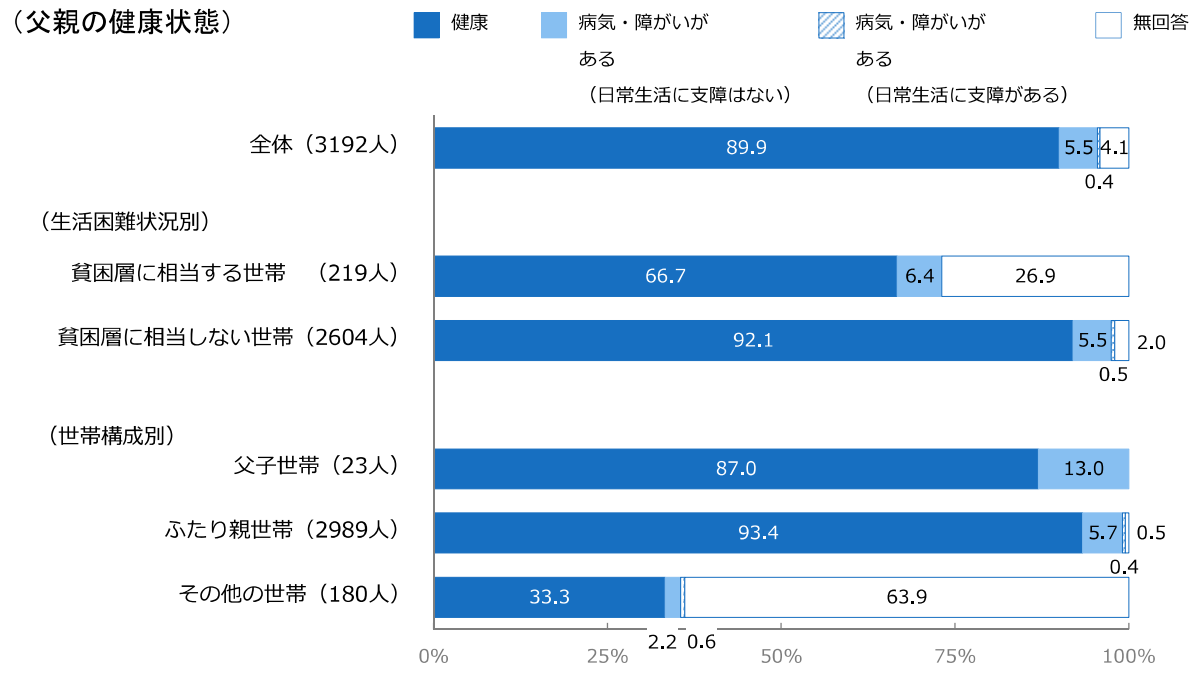
父親の帰宅時刻は、「18～20 時」34.0%が最も多く、以下「20 時～22 時」25.1%、「18 時まで」13.7%となっています。

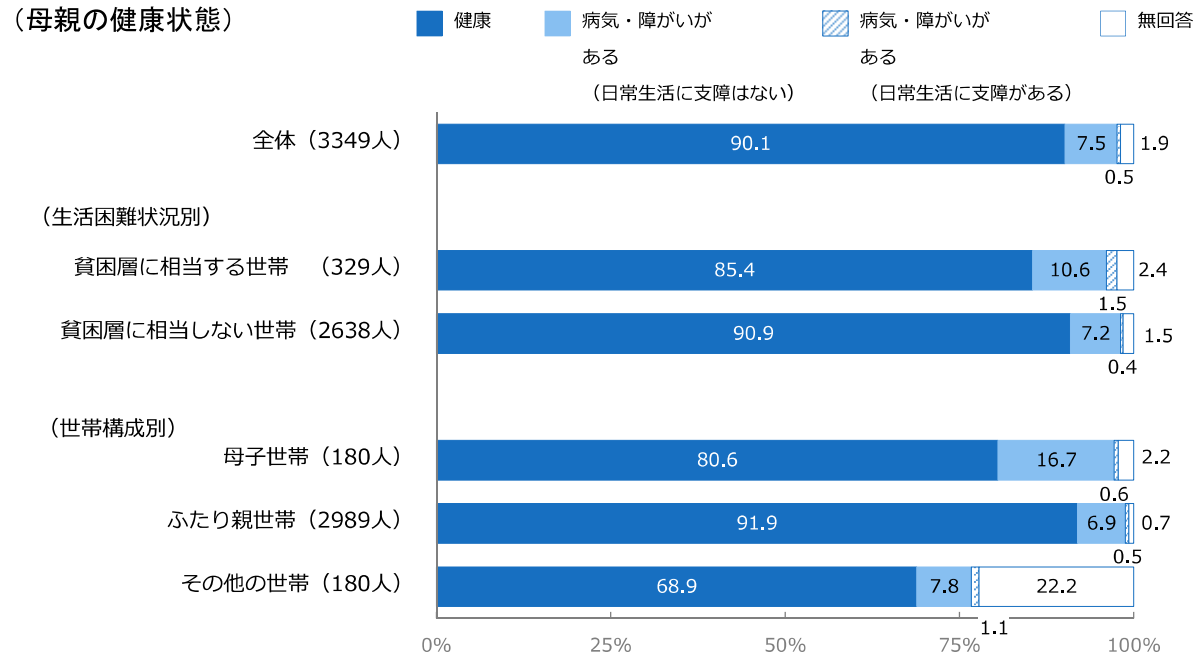
母親の帰宅時刻は、「18 時まで」68.5%が最も多く約４分の３を占め、次いで「18～20 時」21.0%となっています。

世帯構成別でみると、母子世帯とその他の世帯では「18～20 時」が比較的多くなっています（母子世帯：38.2%、その他の世帯：35.3%）。

（10） 両親の健康状態

問９　お子さまのご両親の健康状態を教えてください。（それぞれ番号を１つ記入）



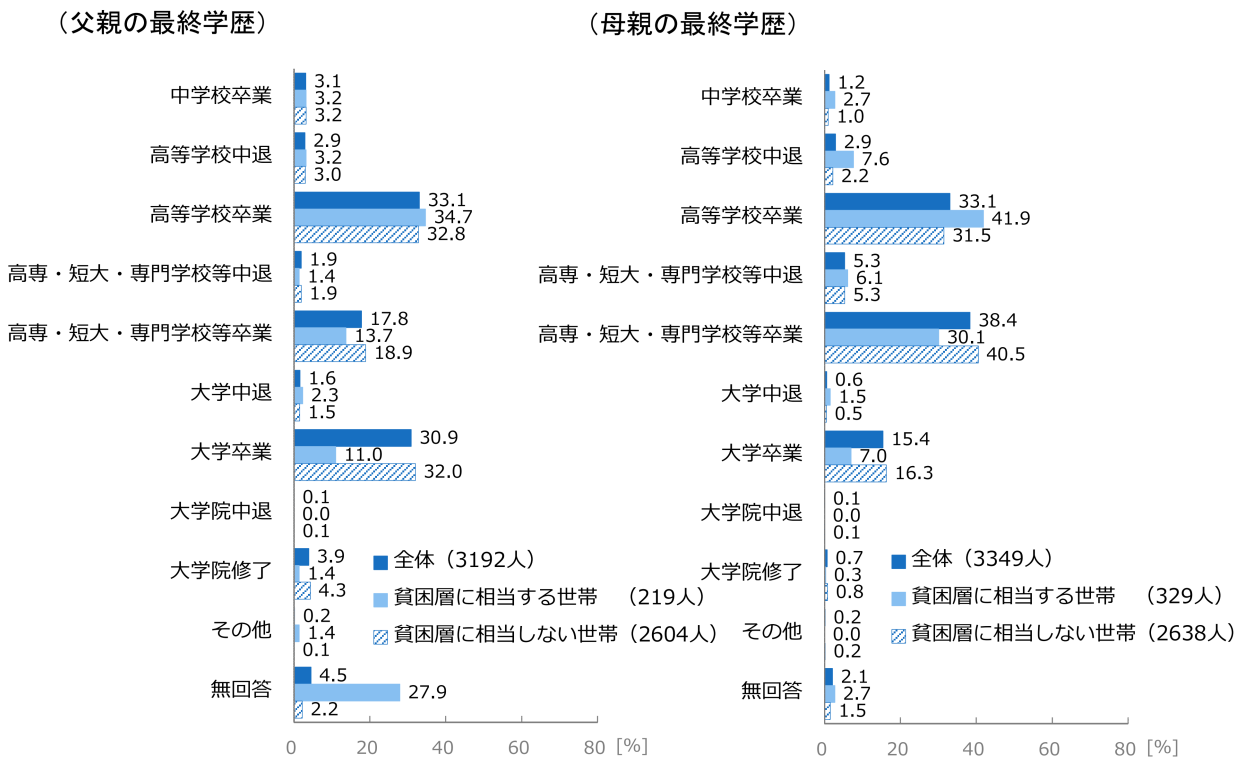


父親の健康状態は、「健康」89.9%が最も多く約９割を占め、次いで「病気・障がいがある（日常生活に支障はない）」5.5%となっています。

母親の健康状態は、「健康」90.1%が最も多く約９割を占め、次いで「病気・障がいがある（日常生活に支障はない）」7.5%となっています。

（11） 両親の最終学歴

問 10　お子さまのご両親が最後に通った学校についてお答えください。（それぞれ番号を１つ記入）



父親の最終学歴は、「高等学校卒業」33.1%が最も多く、以下「大学卒業」30.9%、「高専・短大・専門学校等卒業」17.8%となっています。

母親の最終学歴は、「高専・短大・専門学校等卒業」38.4%が最も多く、以下「高等学校卒業」33.1%、「大学卒業」15.4%となっています。

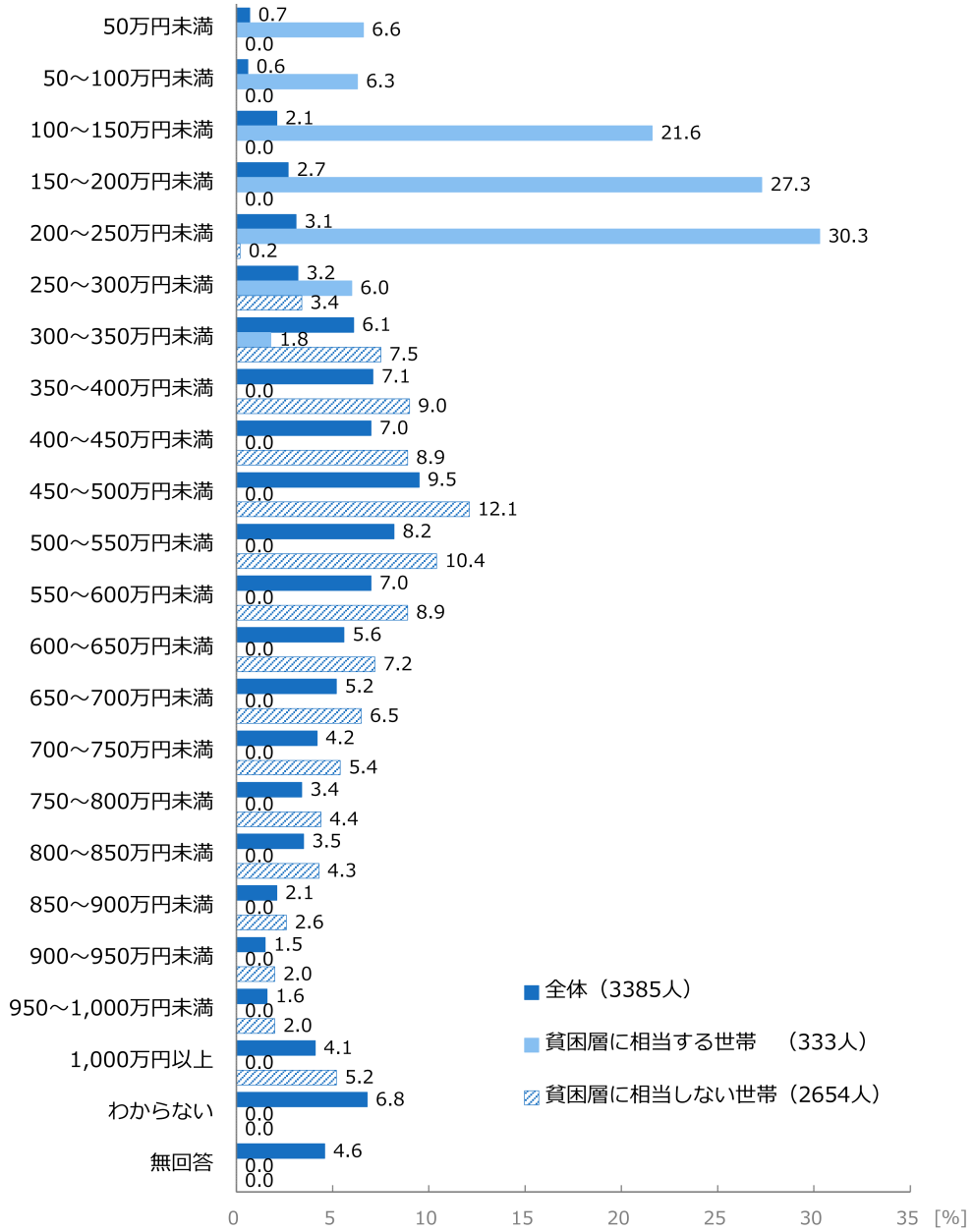
2　世帯の経済的な状況について

（１） 世帯の手取り収入

問 11　前年（平成 30 年）のあなたの世帯の手取り収入の合計額は、およそいくらでしたか。世帯の収入（※１）から、税金や社会保険料の額（※２）を差し引いた後の額でお答えください。（１つに○）

（※１）収入は、働いて得た給料だけでなく、株式配当などの副収入、年金収入、公的な手当、養育費、仕送りを含めた額です。

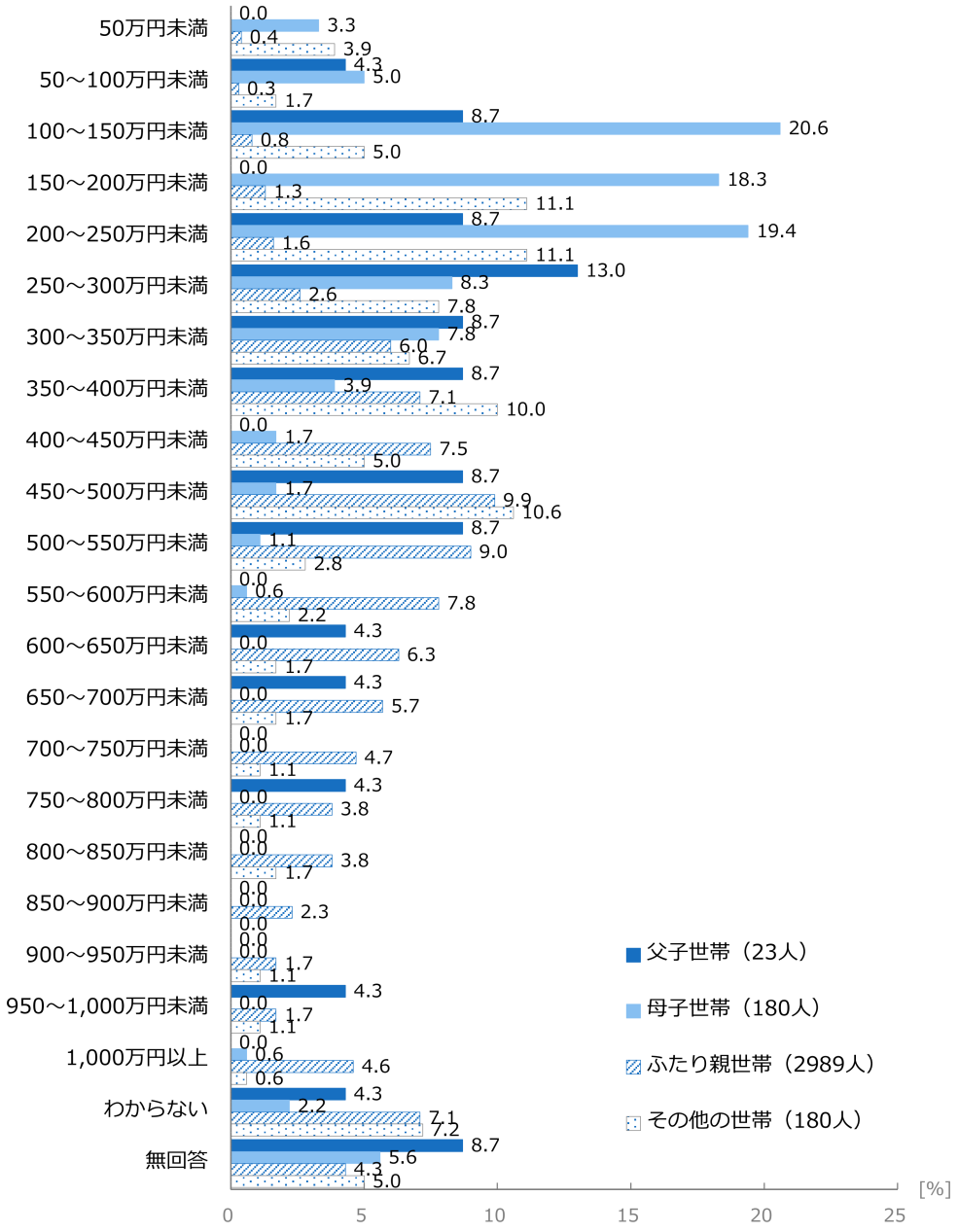
（※２）所得税、住民税、社会保険料、固定資産税等の合計額です。お子さまのご両親が最後に通った学校についてお答えください。（それぞれ番号を１つ記入）



前年（平成 30 年）の**世帯の手取り収入の合計額**は、「450～500 万円未満」9.5%が最も多く、以下「500～550 万円未満」8.2%、「350～400 万円未満」7.1%、「400～450 万円未満」と「550～600 万円未満」各 7.0%となっています。

※Ｐ２「本調査における貧困層の定義」参照の通り、問２の世帯人数と問 11 の可処分所得から貧困層を算出しているため、貧困層に相当する世帯では「350 万円以上」、貧困層に相当しない世帯では「200 万円未満」はそれぞれ０となっています。

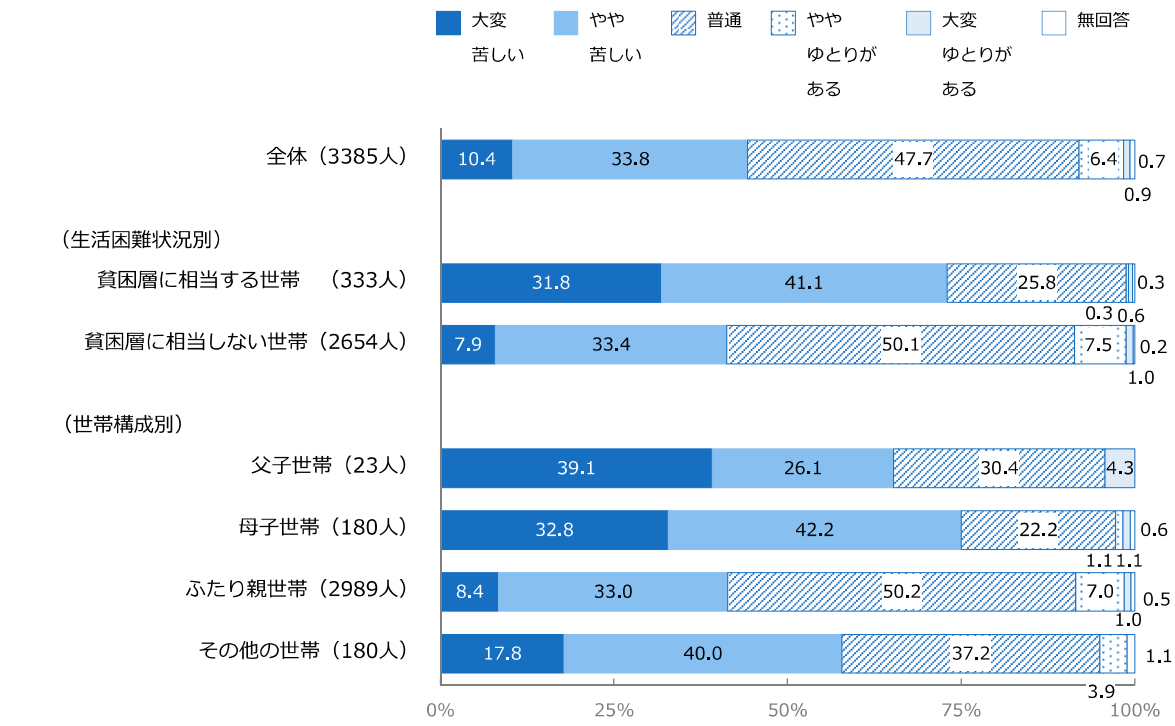
（世帯構成別）



世帯構成別でみると、母子世帯では「100～150 万円未満」20.6%、「150～200 万円未満」18.3%、「200～250 万円未満」19.4%が比較的多くなっています。

（2） 現在の暮らしの状況

問 12　現在の暮らしの状況を総合的に見て、どう感じますか。（１つに○）



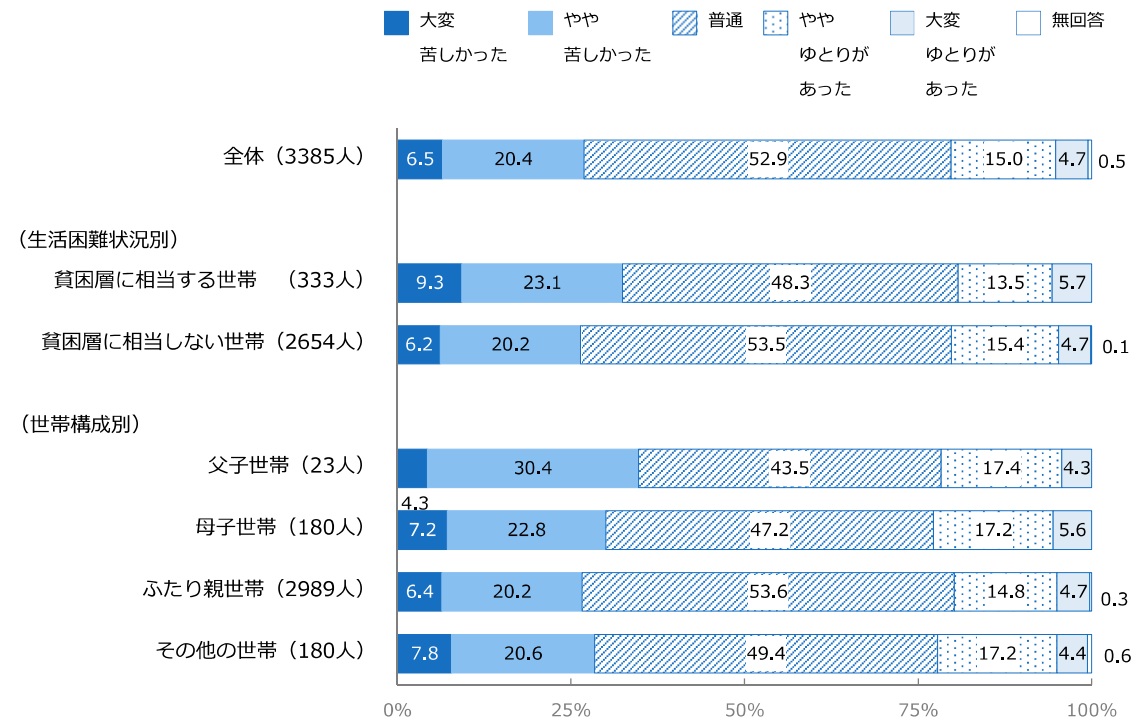
現在の暮らしの状況は、「普通」47.7%が最も多く、約半数を占めています。以下「やや苦しい」33.8%、「大変苦しい」10.4%、「ややゆとりがある」6.4%となっています。大別すると、「大変苦しい」と「やや苦しい」を合わせた『苦しい』は44.2%、「ややゆとりがある」と「大変ゆとりがある」を合わせた『ゆとりがある』は7.3%となっています。

生活困難状況別でみると、貧困層に相当する世帯では「大変苦しい」が31.8%と多く、「やや苦しい」41.1%と合わせた『苦しい』は７割以上を占めています。

世帯構成別でみると、母子世帯では「大変苦しい」が32.8%と多く、「やや苦しい」42.2%と合わせた『苦しい』は４分の３を占めています。

（3） 回答者が子どもの頃の暮らしの状況

問 13　あなたが子どもの頃の暮らしの状況について、あなたはどう感じていましたか。（１つに○）



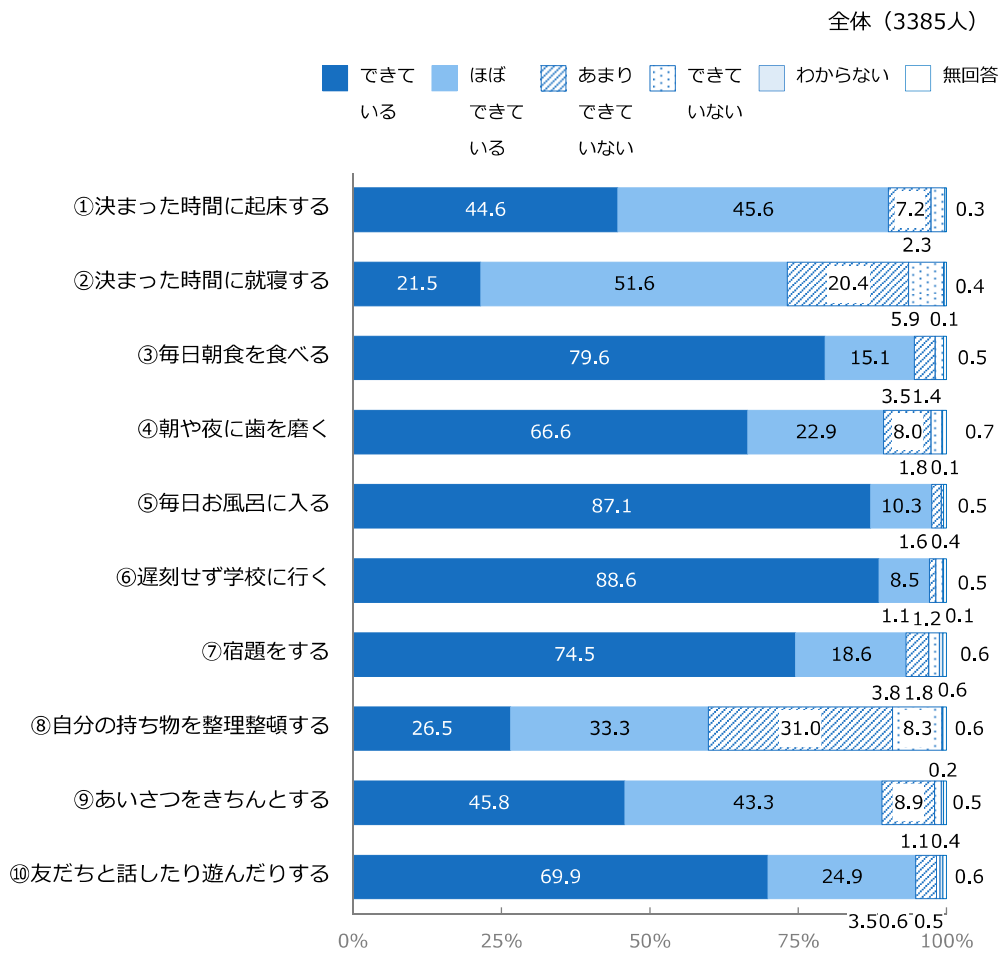
回答者が子どもの頃の暮らしの状況は、「普通」52.9%が最も多く、半数以上を占めています。以下「やや苦しかった」20.4%、「ややゆとりがあった」15.0%、「大変苦しかった」6.5%、「大変ゆとりがあった」4.7%となっています。大別すると、「大変苦しかった」と「やや苦しかった」を合わせた『苦しかった』は26.9%、「ややゆとりがあった」と「大変ゆとりがあった」を合わせた『ゆとりがあった』は19.7%となっています。

生活困難状況別、世帯構成別による差はあまりみられていません。

3　お子さまとの関わり、習慣について

（1）　子どもの基本的な生活・学習習慣

問 14　お子さまの基本的な生活・学習習慣について教えてください。（それぞれあてはまるものに○）



子どもの基本的な生活・学習習慣として「できている」との回答は、〔⑥遅刻せず学校に行く〕88.6%で最も多く、以下〔⑤毎日お風呂に入る〕87.1%、〔③毎日朝食を食べる〕79.6%、〔⑦宿題をする〕74.5%、〔⑩友だちと話したり遊んだりする〕69.9%と続いています。

一方、〔②決まった時間に就寝する〕と〔⑧自分の持ち物を整理整頓する〕では「できている」との回答が２割台と少なく（「できている」　②決まった時間に就寝する：21.5%、⑧自分の持ち物を整理整頓する：26.5%）、「あまりできていない」との回答が多くなっています。（「あまりできていない」　②決まった時間に就寝する：20.4%、⑧自分の持ち物を整理整頓する：31.0%）。

（生活困難状況別・世帯構成別　『できている』と『できていない』）

		全体（3385人）	生活困難状況別		世帯構成別			
			貧困層に相当する世帯（333人）	貧困層に相当しない世帯（2654人）	父子世帯（23人）	母子世帯（180人）	ふたり親世帯（2989人）	その他の世帯（180人）
『できている』	①決まった時間に起床する	90.2	**84.4**	91.4	82.6	**82.8**	91.1	87.2
	②決まった時間に就寝する	73.1	**65.2**	74.9	69.6	**61.1**	74.4	**66.1**
	③毎日朝食を食べる	94.7	**88.9**	95.8	82.6	**88.3**	95.4	93.3
	④朝や夜に歯を磨く	89.5	85.0	90.5	65.2	**83.9**	90.5	**83.3**
	⑤毎日お風呂に入る	97.5	97.0	97.9	91.3	93.9	98.0	97.2
	⑥遅刻せず学校に行く	97.2	96.1	97.9	91.3	93.3	97.6	97.8
	⑦宿題をする	93.2	90.1	94.0	82.6	**82.8**	94.3	91.1
	⑧自分の持ち物を整理整頓する	59.8	59.2	60.3	56.5	56.7	60.4	56.7
	⑨あいさつをきちんとする	89.1	88.9	89.5	78.3	90.0	89.5	87.8
	⑩友だちと話したり遊んだりする	94.8	92.8	95.4	82.6	91.1	95.4	94.4
『できていない』	①決まった時間に起床する	9.5	**15.6**	8.5	17.4	**17.2**	8.8	12.8
	②決まった時間に就寝する	26.4	**34.8**	24.8	30.4	**38.9**	25.2	**33.3**
	③毎日朝食を食べる	4.8	**11.1**	4.0	17.4	**11.7**	4.2	6.7
	④朝や夜に歯を磨く	9.8	14.1	9.1	34.8	**15.0**	8.9	**16.1**
	⑤毎日お風呂に入る	2.0	2.7	1.9	8.7	5.6	1.7	2.8
	⑥遅刻せず学校に行く	2.2	3.6	1.9	8.7	6.1	2.0	2.2
	⑦宿題をする	5.6	8.4	5.2	17.4	**15.0**	4.7	7.8
	⑧自分の持ち物を整理整頓する	39.4	39.6	39.4	43.5	40.6	39.1	43.3
	⑨あいさつをきちんとする	10.0	10.5	10.1	21.7	8.3	9.8	12.2
	⑩友だちと話したり遊んだりする	4.1	5.7	4.0	17.4	5.6	3.7	5.6

全体よりも５ポイント以上多い　　全体よりも５ポイント以上少ない

※上記の表では全体よりも５ポイント以上多いものと全体よりも５ポイント以上少ないものに色付けしていますが、この問では１つの属性において『できている』が多ければ『できていない』が少なくなり、『できている』が少なければ『できていない』が多くなる傾向があるため、下記のコメントでは全体よりも５ポイント以上多いものについてのみ記載し、全体よりも５ポイント以上少ないものについては割愛するものとします。

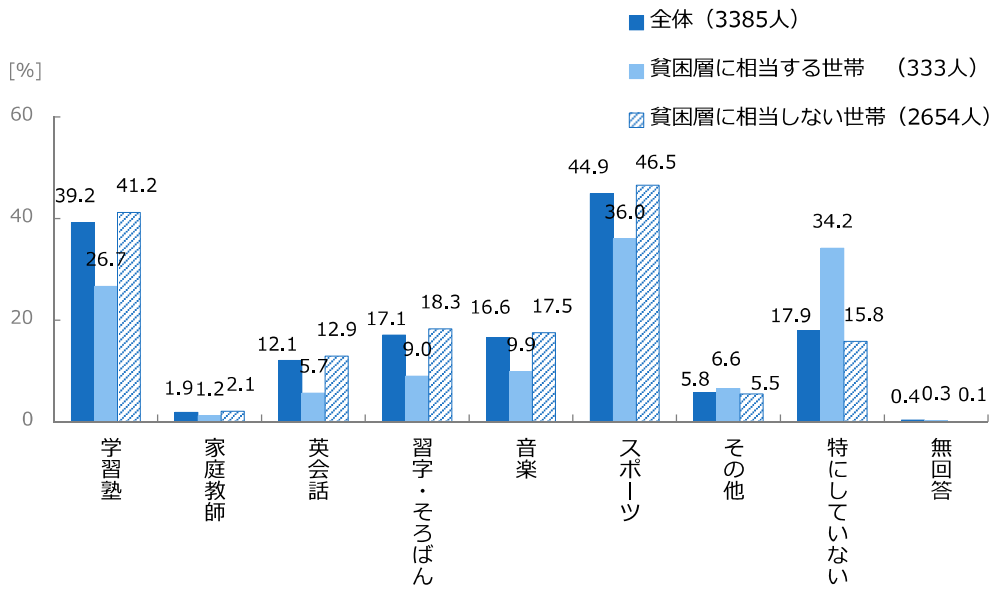
＊『できていない』（「あまりできていない」＋「できていない」）

生活困難状況別でみると、貧困層に相当する世帯では〔①決まった時間に起床する〕15.6%、〔②決まった時間に就寝する〕34.8%、〔③毎日朝食を食べる〕11.1%で比較的多くなっています。

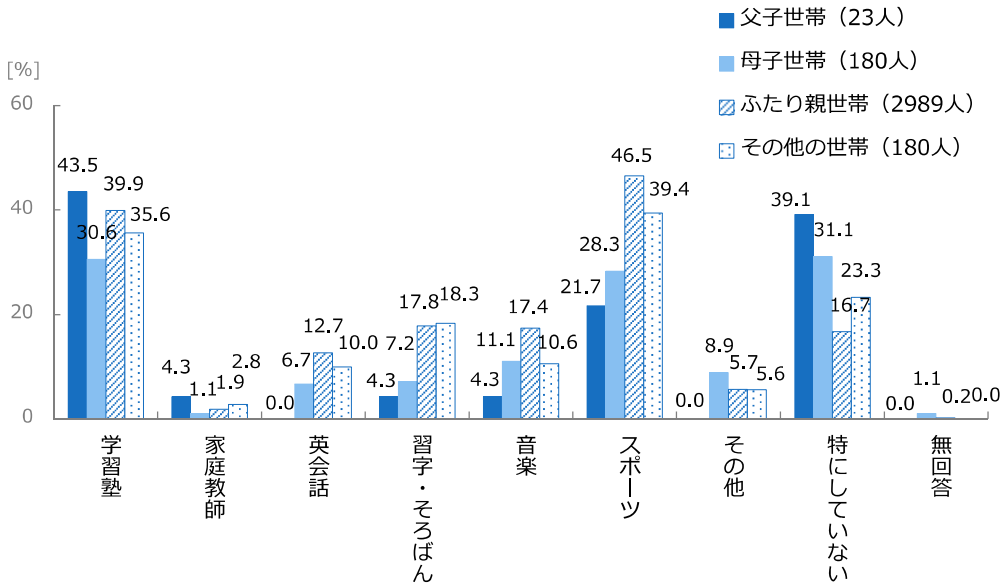
世帯構成別でみると、母子世帯では〔①決まった時間に起床する〕17.2%、〔②決まった時間に就寝する〕38.9%、〔③毎日朝食を食べる〕11.7%、〔④朝や夜に歯を磨く〕15.0%、〔⑦宿題をする〕15.0%で、その他の世帯では〔②決まった時間に就寝する〕33.3%、〔④朝や夜に歯を磨く〕16.1%で比較的多くなっています。

（2） 子どもの習い事の状況

問 15　お子さまは習い事をしていますか。以下のうちあてはまるものにお答えください。（あてはまるものすべてに○）



（世帯構成別）



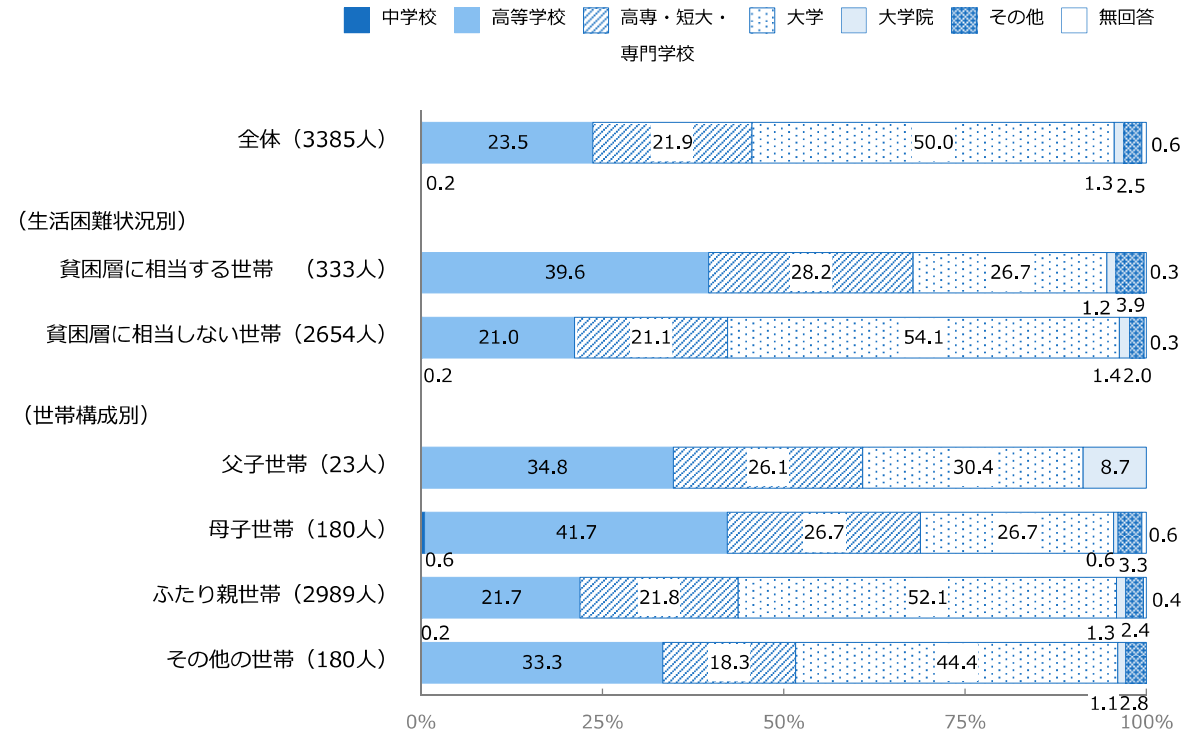
子どもの習い事の状況は、「スポーツ」44.9%が最も多く、以下「学習塾」39.2%、「習字・そろばん」17.1%、「音楽」16.6%となっています。また、「特にしていない」は17.9%となっています。

生活困難状況別でみると、貧困層に相当する世帯では「特にしていない」34.2%が比較的多くなっています。

世帯構成別でみると、母子世帯では「特にしていない」31.1%が比較的多くなっています。

（3） 回答者が希望する子どもの進学先

問 16　あなたはお子さまの進学についてどこまで希望されていますか。（１つに○）

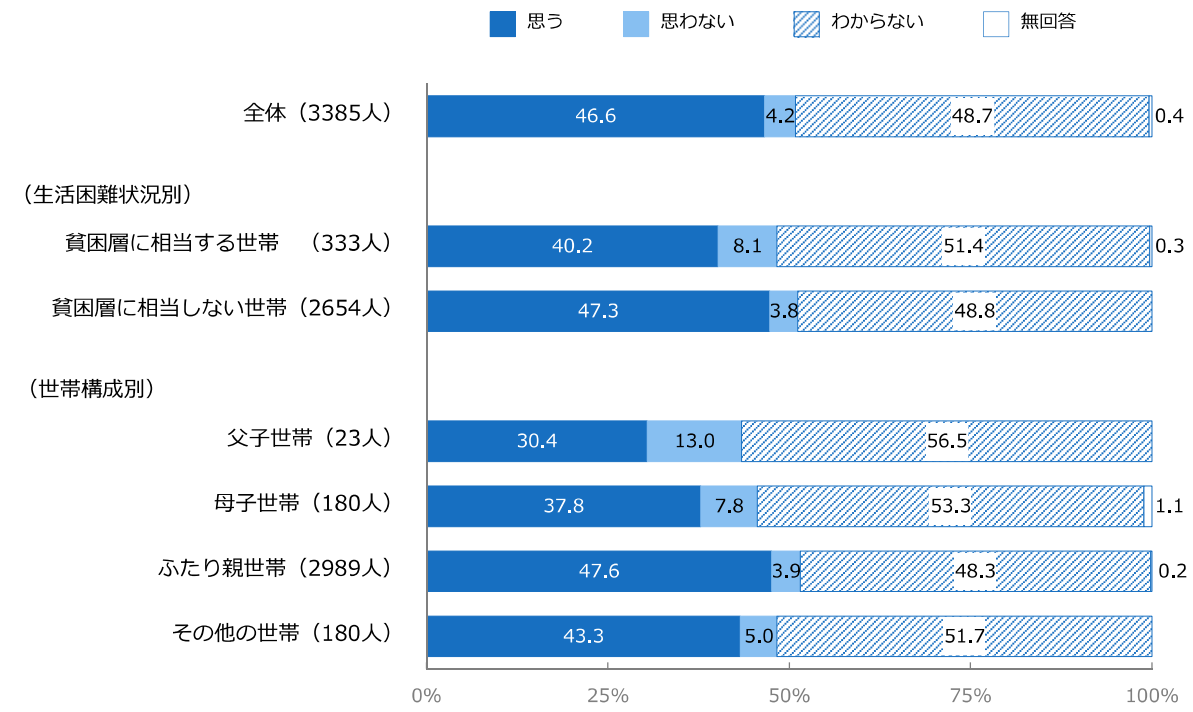


回答者が希望する子どもの進学先は、「大学」50.0%が最も多く、半数を占めています。以下「高等学校」23.5%、「高専・短大・専門学校」21.9%となっています。

生活困難状況別でみると、貧困層に相当する世帯では「高等学校」39.6%が比較的多くなっています。

世帯構成別でみると、母子世帯では「高等学校」41.7%が比較的多くなっています。

問 16-1　あなたは、お子さまが問 16 の希望どおりの学校まで進むことになると思いますか。（１つに○）



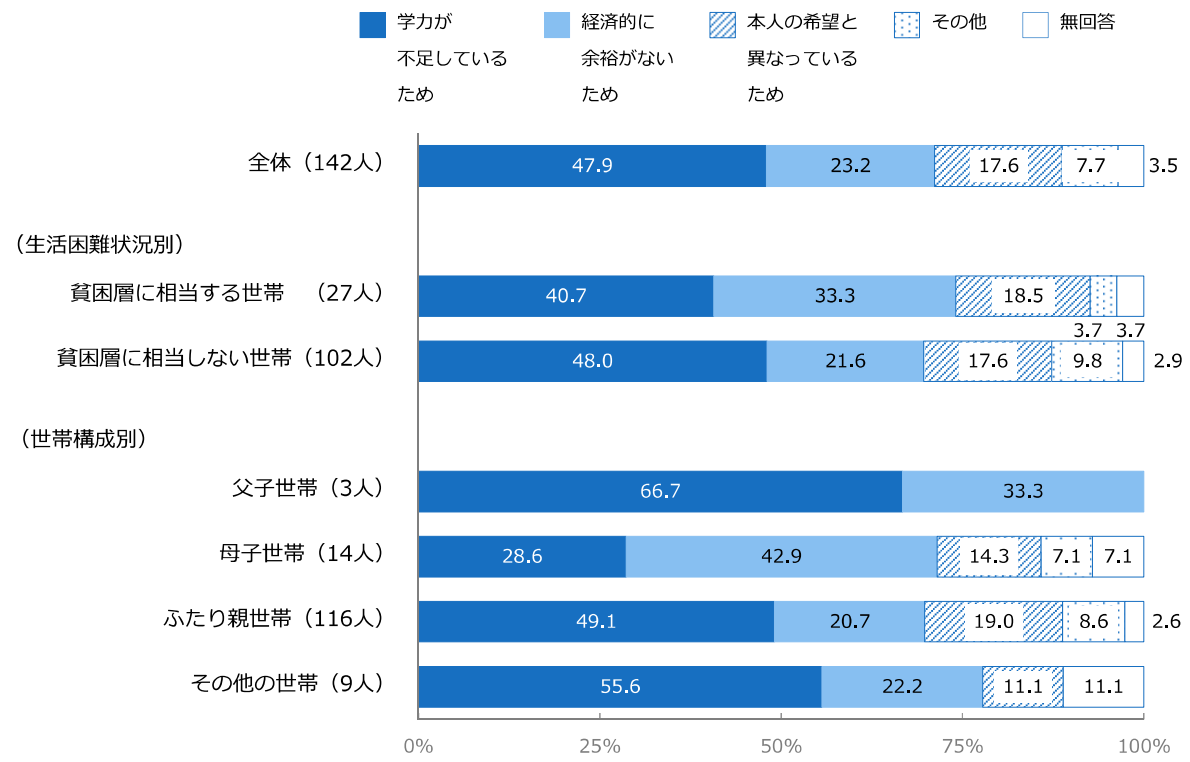
子どもの進学希望についての見通しは、「わからない」48.7%が最も多く、以下「（希望どおりの学校まで進むと）思う」46.6%、「（希望どおりの学校まで進むと）思わない」4.2%となっています。

生活困難状況別でみると、貧困層に相当する世帯では「思う」40.2%が比較的少なくなっています。

世帯構成別でみると、母子世帯では「思う」37.8%が比較的少なくなっています。

（問 16-1 で「２」を選んだ方におうかがいします。）

問 16-2　その理由として、主なものをお答えください。（１つに○）



子どもが「回答者の希望通りの学校まで進むとは思わない」と回答した人（142 人）の、**子どもが回答者の希望通りの学校まで進むと思わない理由**は、「学力が不足しているため」47.9%が最も多く、以下「経済的に余裕がないため」23.2%、「本人の希望と異なっているため」17.6%となっています。

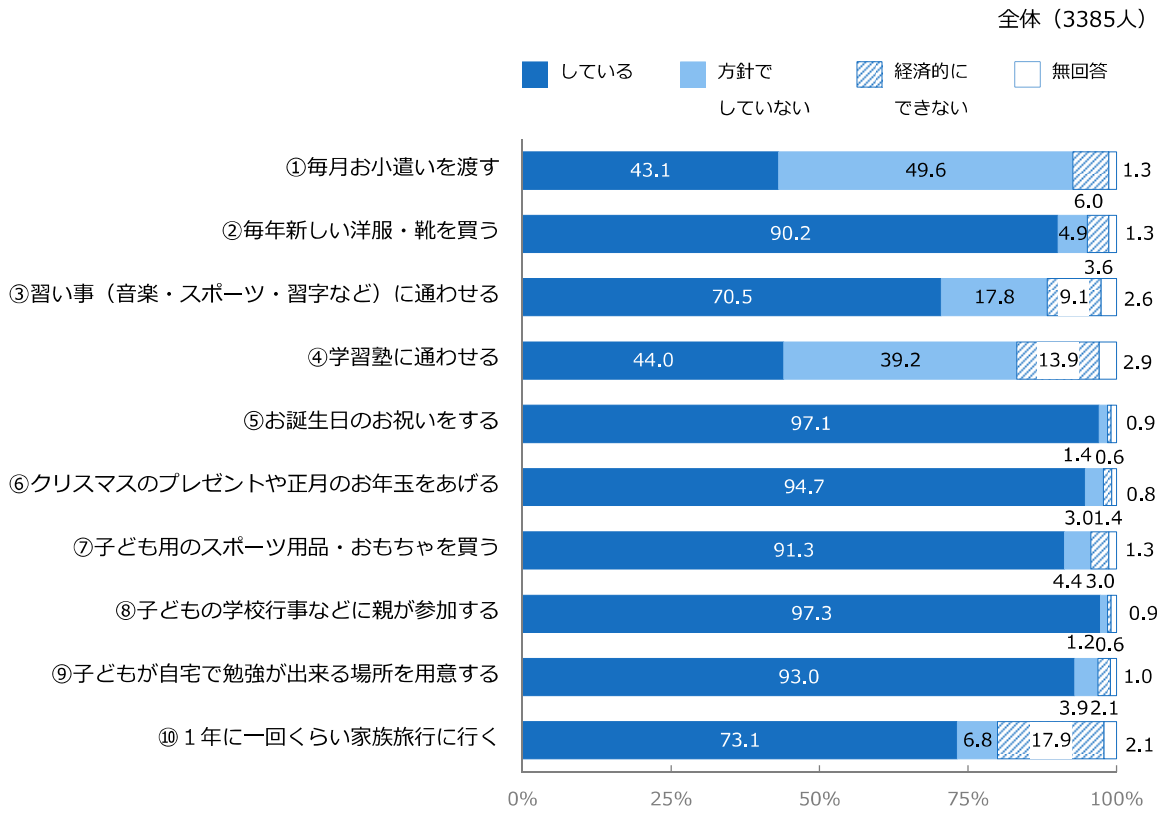
生活困難状況別でみると、貧困層に相当する世帯では「経済的に余裕がないため」33.3%が比較的多くなっています。

世帯構成別でみると、母子世帯では「経済的に余裕がないため」42.9%が比較的多くなっています。

4　子どもを取り巻く環境・子育ての悩みについて

（1） 子どもへの金品や機会等の提供

問 17　あなたのご家庭ではお子さまに次のことをしていますか。（それぞれあてはまるもの１つに○）



子どもへの金品や機会等の提供として「している」との回答は、〔⑧子どもの学校行事などに親が参加する〕97.3%で最も多く、以下〔⑤お誕生日のお祝いをする〕97.1%、〔⑥クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる〕94.7%、〔⑨子どもが自宅で勉強が出来る場所を用意する〕93.0%、〔⑦子ども用のスポーツ用品・おもちゃを買う〕91.3%、〔②毎年新しい洋服・靴を買う〕90.2%と続き、この６項目では「している」が９割以上となっています。

一方、「方針でしていない」との回答は、〔①毎月お小遣いを渡す〕49.6%で最も多く、以下〔④学習塾に通わせる〕39.2%、〔③習い事（音楽・スポーツ・習字など）に通わせる〕17.8%と続いています。

また、「経済的にできない」との回答は、〔⑩１年に一回くらい家族旅行に行く〕17.9%で最も多く、以下〔④学習塾に通わせる〕13.9%、〔③習い事（音楽・スポーツ・習字など）に通わせる〕9.1%と続いています。

（生活困難状況別・世帯構成別　「方針でしていない」と「経済的にできない」

		全体（3385人）	生活困難状況別		世帯構成別			
			貧困層に相当する世帯（333人）	貧困層に相当しない世帯（2654人）	父子世帯（23人）	母子世帯（180人）	ふたり親世帯（2989人）	その他の世帯（180人）
「方針でしていない」	①毎月お小遣いを渡す	49.6	44.1	49.5	56.5	**38.9**	50.4	47.8
	②毎年新しい洋服・靴を買う	4.9	6.0	4.5	8.7	3.3	4.9	6.1
	③習い事（音楽・スポーツ・習字など）に通わせる	17.8	17.1	17.9	26.1	12.2	18.1	17.8
	④学習塾に通わせる	39.2	**29.1**	40.4	26.1	**17.8**	41.1	32.8
	⑤お誕生日のお祝いをする	1.4	1.5	1.4	4.3	2.2	1.3	1.7
	⑥クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる	3.0	4.2	2.7	8.7	4.4	2.9	2.2
	⑦子ども用のスポーツ用品・おもちゃを買う	4.4	8.1	3.9	4.3	9.4	3.9	6.7
	⑧子どもの学校行事などに親が参加する	1.2	3.6	0.7	-	3.9	0.9	2.8
	⑨子どもが自宅で勉強が出来る場所を用意する	3.9	5.1	3.6	4.3	6.1	3.6	5.6
	⑩１年に一回くらい家族旅行に行く	6.8	6.6	6.4	17.4	4.4	6.8	8.3
「経済的にできない」	①毎月お小遣いを渡す	6.0	**19.5**	4.5	8.7	**26.1**	4.4	11.7
	②毎年新しい洋服・靴を買う	3.6	**13.8**	2.6	13.0	**17.2**	2.7	4.4
	③習い事（音楽・スポーツ・習字など）に通わせる	9.1	**27.6**	6.7	30.4	**36.1**	7.0	16.1
	④学習塾に通わせる	13.9	**36.6**	11.4	21.7	**43.9**	11.5	23.3
	⑤お誕生日のお祝いをする	0.6	1.8	0.6	-	2.2	0.5	1.1
	⑥クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる	1.4	5.7	1.0	4.3	7.8	0.9	3.3
	⑦子ども用のスポーツ用品・おもちゃを買う	3.0	11.7	2.0	4.3	**13.3**	2.1	6.1
	⑧子どもの学校行事などに親が参加する	0.6	3.0	0.4	8.7	2.2	0.4	2.2
	⑨子どもが自宅で勉強が出来る場所を用意する	2.1	9.0	1.4	-	10.6	1.4	5.6
	⑩１年に一回くらい家族旅行に行く	17.9	**41.1**	15.6	26.1	**48.9**	15.8	23.3

全体よりも10ポイント以上多い　　全体よりも10ポイント以上少ない

＊「方針でしていない」

生活困難状況別でみると、貧困層に相当する世帯では〔④学習塾に通わせる〕29.1％で比較的少なくなっています。

世帯構成別でみると、母子世帯では〔①毎月お小遣いを渡す〕38.9％、〔④学習塾に通わせる〕17.8％で比較的少なくなっています。

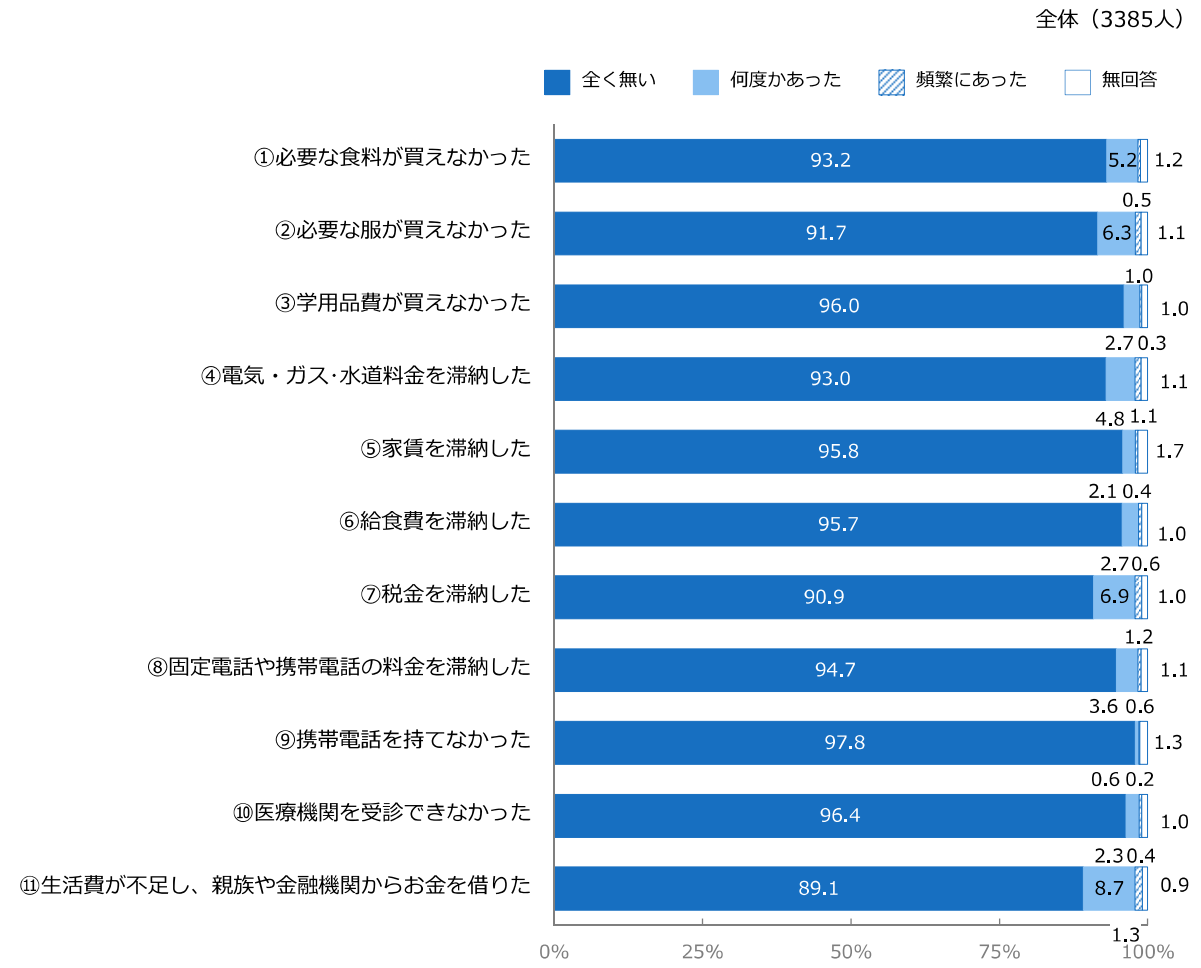
＊「経済的にできない」

生活困難状況別でみると、貧困層に相当する世帯では〔①毎月お小遣いを渡す〕19.5％、〔②毎年新しい洋服・靴を買う〕13.8％、〔③習い事（音楽・スポーツ・習字など）に通わせる〕27.6％、〔④学習塾に通わせる〕36.6％、〔⑩１年に一回くらい家族旅行に行く〕41.1％で比較的多くなっています。

世帯構成別でみると、母子世帯では〔①毎月お小遣いを渡す〕26.1%、〔②毎年新しい洋服・靴を買う〕、17.2%、〔③習い事（音楽・スポーツ・習字など）に通わせる〕36.1%、〔④学習塾に通わせる〕43.9%、〔⑦子ども用のスポーツ用品・おもちゃを買う〕13.3%、〔⑩１年に一回くらい家族旅行に行く〕48.9%で比較的多くなっています。

（２） 経済的困窮の経験

問 18　あなたのご家庭では、過去一年間に経済的な理由による次のような経験がありましたか。（それぞれあてはまるもの１つに○）



過去一年間の経済的困窮の経験の有無として、「全く無い」との回答は①～⑪の全ての項目で９割前後を占めています。

一方、「何度かあった」との回答は、〔⑪生活費が不足し、親族や金融機関からお金を借りた〕8.7%で最も多く、以下〔⑦税金を滞納した〕6.9%、〔②必要な服が買えなかった〕6.3%、〔①必要な食料が買えなかった〕5.2%と続いています。

（生活困難状況別・世帯構成別　『あった』）

		全体（3385人）	生活困難状況別		世帯構成別			
			貧困層に相当する世帯（333人）	貧困層に相当しない世帯（2654人）	父子世帯（23人）	母子世帯（180人）	ふたり親世帯（2989人）	その他の世帯（180人）
『あった』	①必要な食料が買えなかった	5.7	**20.7**	4.0	21.7	**26.7**	4.1	8.9
	②必要な服が買えなかった	7.2	**24.6**	5.5	21.7	**31.1**	5.5	10.6
	③学用品費が買えなかった	3.0	**13.8**	1.7	8.7	**19.4**	1.8	5.6
	④電気・ガス･水道料金を滞納した	5.9	**16.2**	4.6	21.7	**23.9**	4.7	6.1
	⑤家賃を滞納した	2.5	9.6	1.5	13.0	**15.6**	1.6	2.2
	⑥給食費を滞納した	3.3	13.2	2.0	17.4	**16.7**	2.2	6.7
	⑦税金を滞納した	8.1	**22.2**	6.2	21.7	**22.8**	6.7	13.3
	⑧固定電話や携帯電話の料金を滞納した	4.2	**15.0**	2.7	8.7	**19.4**	2.9	8.3
	⑨携帯電話を持てなかった	0.9	3.0	0.6	-	3.9	0.6	1.7
	⑩医療機関を受診できなかった	2.6	8.7	2.0	8.7	8.3	2.0	6.7
	⑪生活費が不足し、親族や金融機関からお金を借りた	10.0	**27.0**	8.3	26.1	**34.4**	8.2	14.4

全体よりも10ポイント以上多い

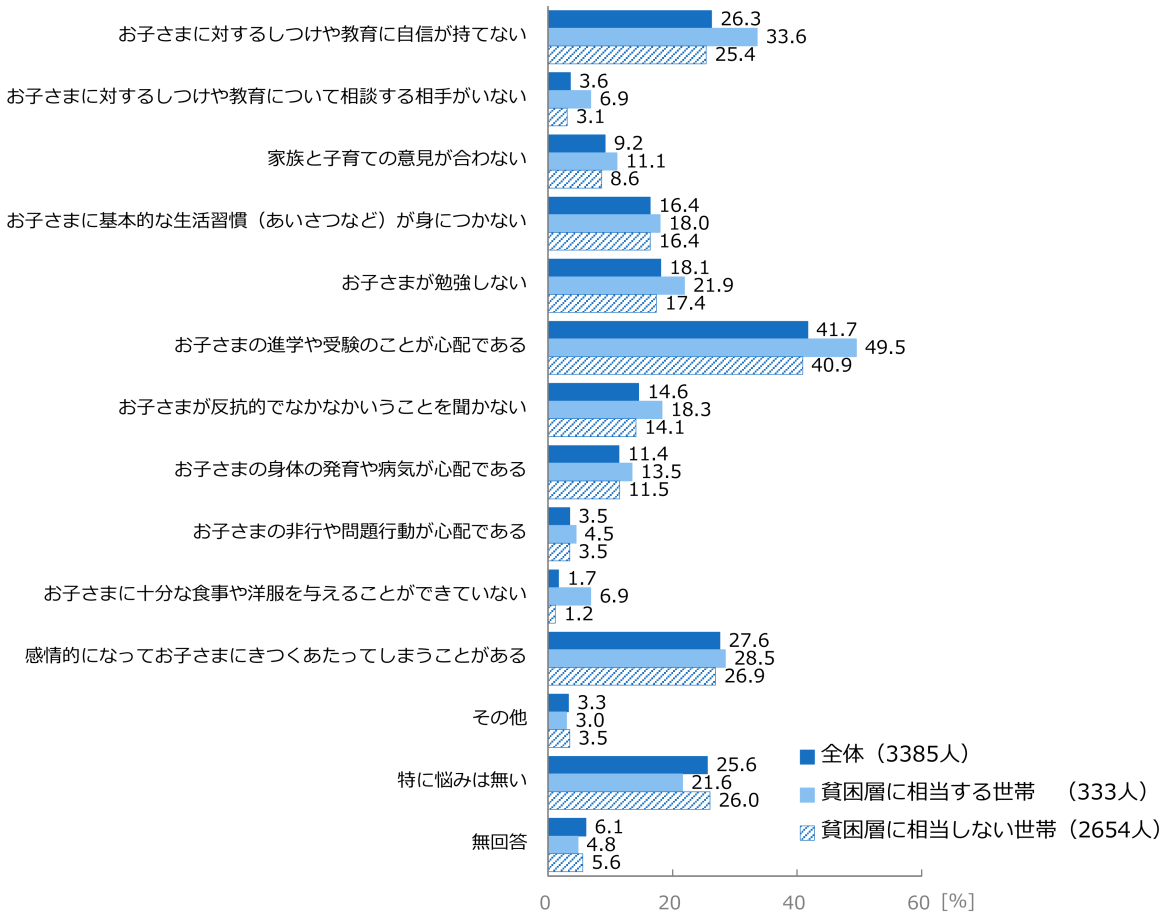
＊『あった』（「何度かあった」＋「頻繁にあった」）

生活困難状況別でみると、貧困層に相当する世帯では〔⑤家賃を滞納した〕〔⑥給食費を滞納した〕〔⑨携帯電話を持てなかった〕〔⑩医療機関を受診できなかった〕を除く 11 項目中７項目で『あった』との回答が多くなっています。特に〔⑪生活費が不足し、親族や金融機関からお金を借りた〕27.0％と〔②必要な服が買えなかった〕24.6％では約４分の１を占めています。

世帯構成別でみると、母子世帯では〔⑨携帯電話を持てなかった〕と〔⑩医療機関を受診できなかった〕を除く 11 項目中９項目で『あった』との回答が多くなっています。特に〔⑪生活費が不足し、親族や金融機関からお金を借りた〕34.4％と〔②必要な服が買えなかった〕31.1％では３割以上を占めています。

（３） 子どもについての悩みや不安

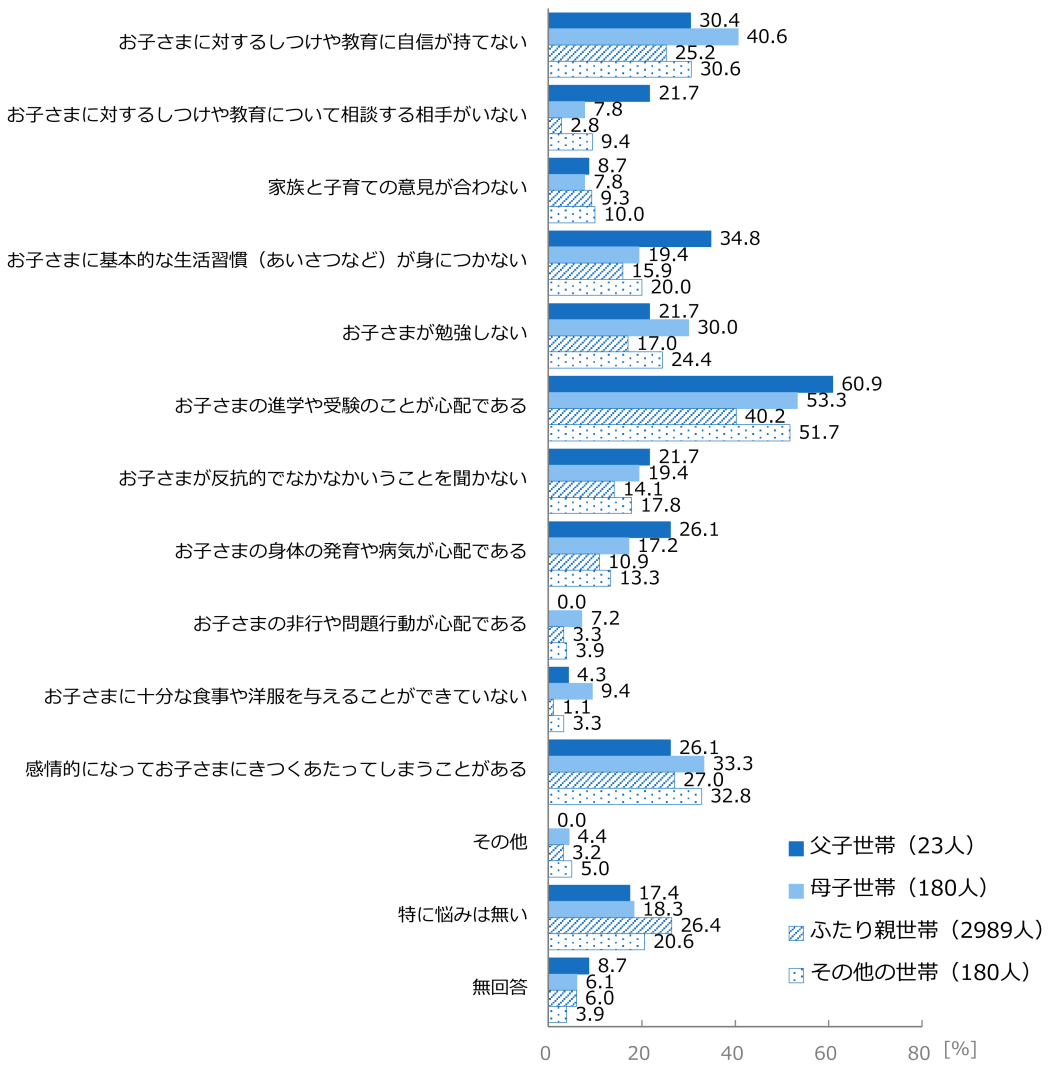
問 19　あなたは現在、お子さまについて悩みや不安はありますか。（あてはまるものすべてに〇）



子どもについての悩みや不安は、「お子さまの進学や受験のことが心配である」41.7%が最も多く、以下「感情的になってお子さまにきつくあたってしまうことがある」27.6%、「お子さまに対するしつけや教育に自信が持てない」26.3%、「お子さまが勉強しない」18.1%となっています。また、「特に悩みは無い」は 25.6%となっています。

生活困難状況別でみると、貧困層に相当する世帯では「お子さまに対するしつけや教育に自信が持てない」33.6%、「お子さまの進学や受験のことが心配である」49.5%が比較的多くなっています。

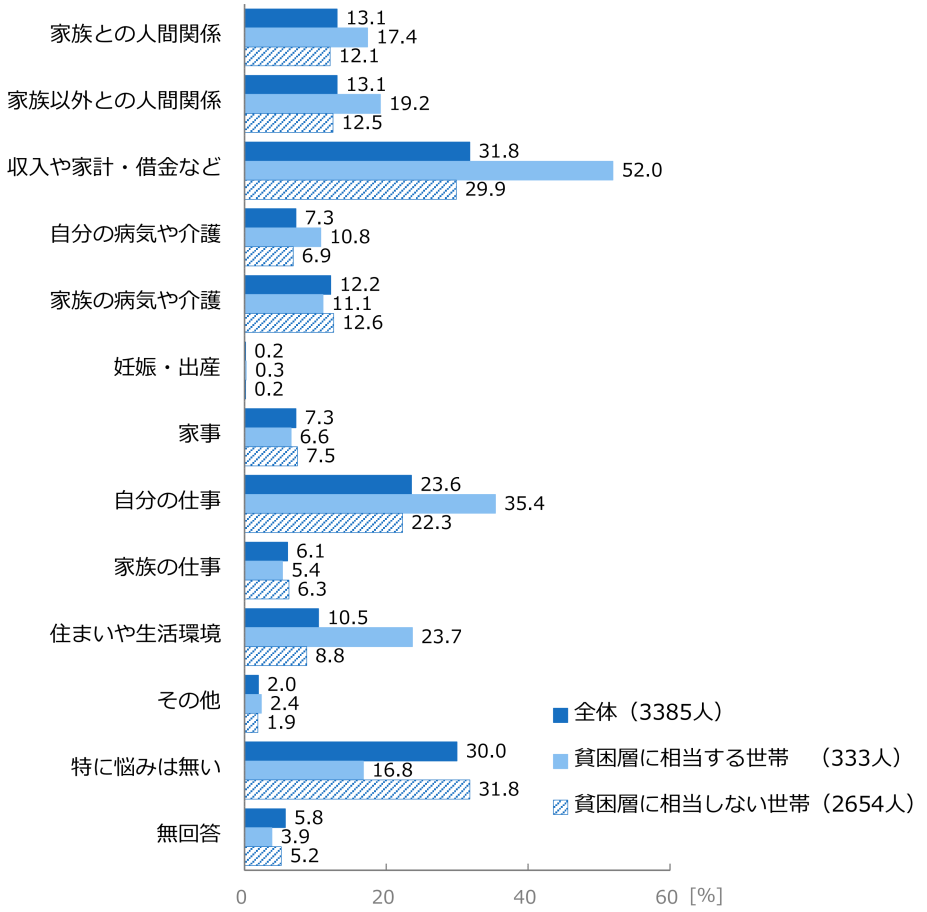
（世帯構成別）



世帯構成別でみると、母子世帯では「お子さまに対するしつけや教育に自信が持てない」40.6%、「お子さまが勉強しない」30.0%、「お子さまの進学や受験のことが心配である」53.3%が比較的多くなっています。

（４） 子どもに関すること以外での心配や悩み事

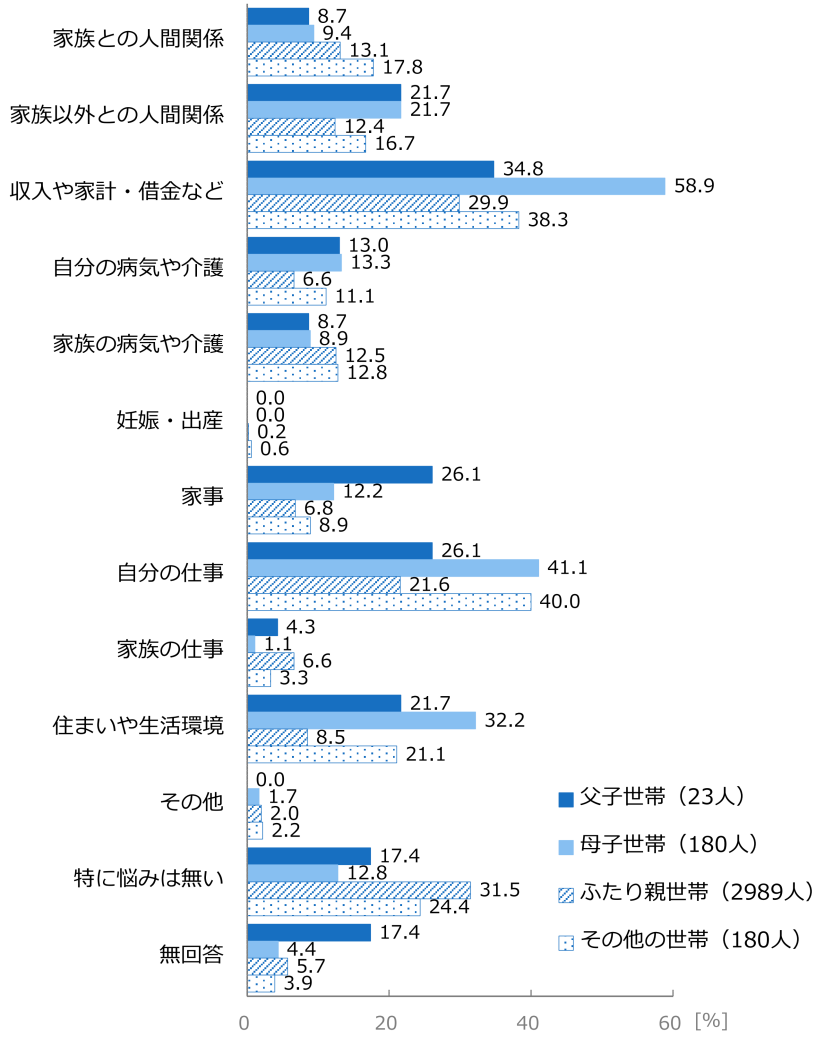
問 20　あなたは、お子さまに関すること以外で心配や悩み事はありますか。（あてはまるものすべてに〇）



子どもに関すること以外での心配や悩み事は、「収入や家計・借金など」31.8%が最も多く、以下「自分の仕事」23.6%、「家族との人間関係」と「家族以外との人間関係」各 13.1%となっています。また、「特に悩みは無い」は 30.0%となっています。

生活困難状況別でみると、貧困層に相当する世帯では「収入や家計・借金など」52.0%、「住まいや生活環境」23.7%、「自分の仕事」35.4%が比較的多くなっています。

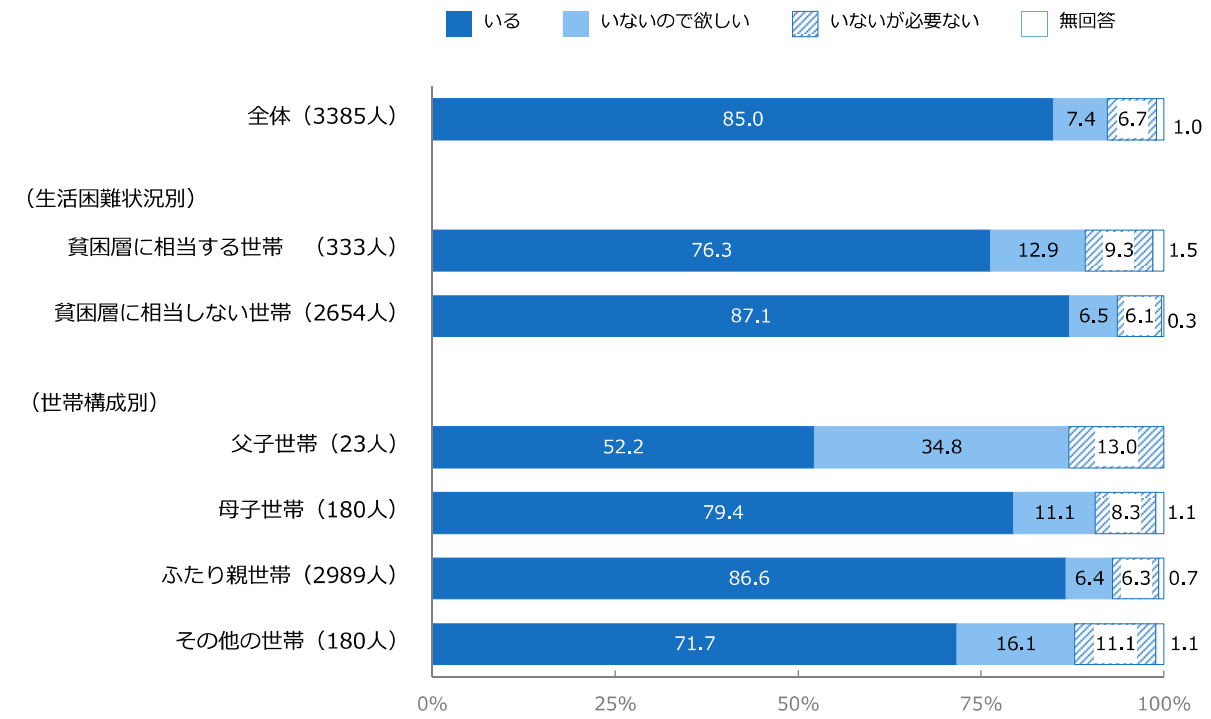
（世帯構成別）



世帯構成別でみると、母子世帯では「収入や家計・借金など」58.9%、「自分の仕事」41.1%、「住まいや生活環境」32.2%が、その他の世帯では「自分の仕事」40.0%、「住まいや生活環境」21.1%が比較的多くなっています。

（５） 悩み事の相談相手

問 21　あなたには現在心おきなく相談できる相手がいますか。（１つに○）



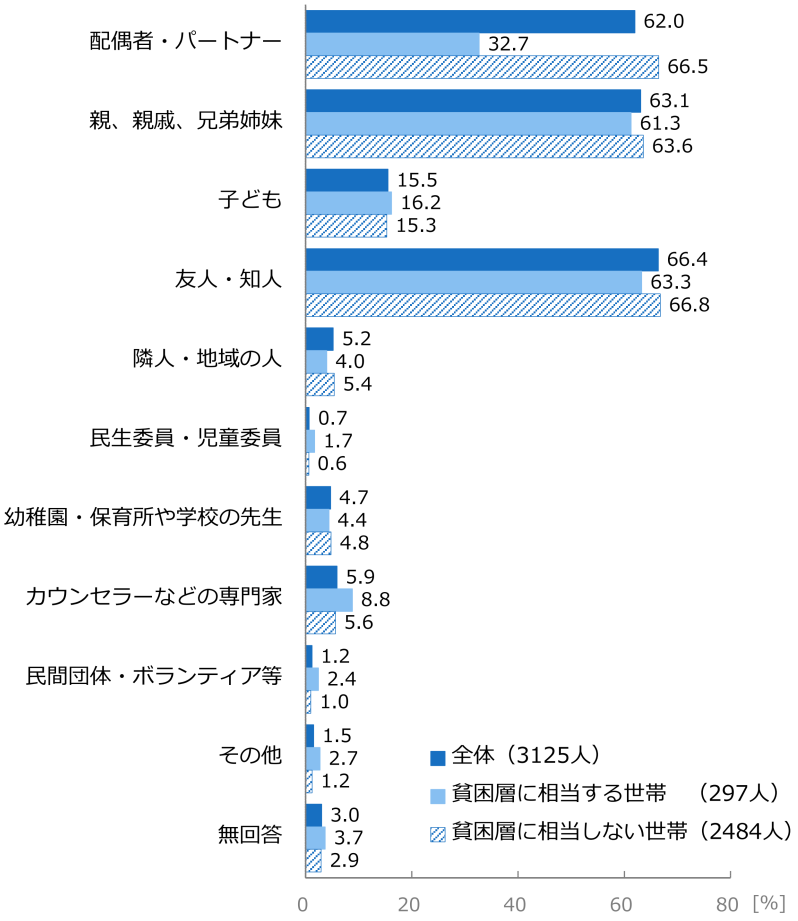
悩み事の相談相手の有無は、「いる」85.0%が最も多く、以下「いないので欲しい」7.4%、「いないが必要ない」6.7%となっています。

生活困難状況別でみると、貧困層に相当する世帯では「いる」76.3%が比較的少なくなっています。

世帯状況別でみると、その他の世帯では「いる」71.7%が比較的少なくなっています。

（問 21 で、「１」または「２」を選んだ方にお伺いします。）

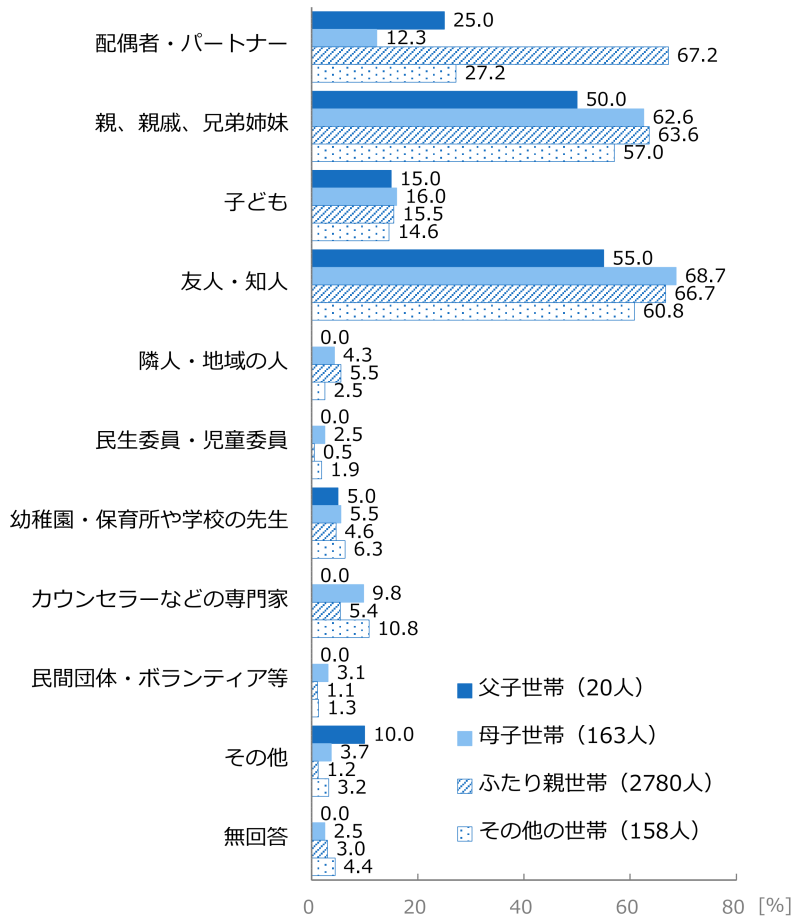
問 21-1　その相談相手は誰ですか、また、相談相手が欲しい方はどのような相手に相談したいと思いますか。（あてはまる番号すべてに○）



相談相手が「いる」もしくは「いないので欲しい」と回答した人（3,125 人）の**実際の相談相手もしくは希望する相談相手**は、「友人・知人」66.4%が最も多く、以下「親、親戚、兄弟姉妹」63.1%、「配偶者・パートナー」62.0%、「子ども」15.5%となっています。

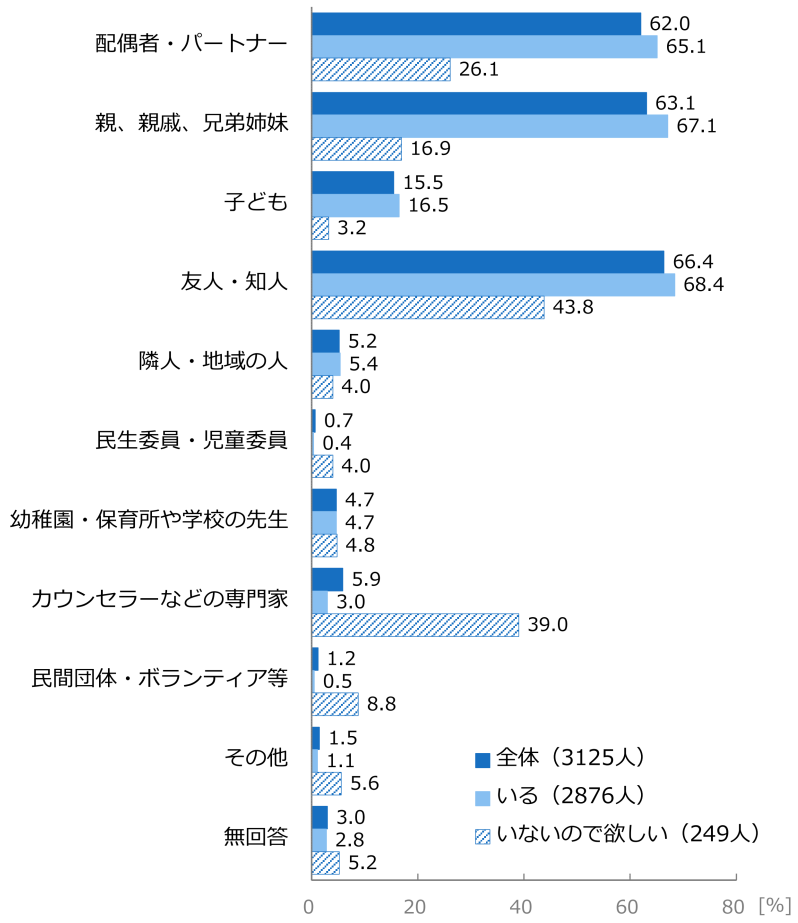
生活困難状況別でみると、貧困層に相当する世帯では「配偶者・パートナー」32.7%が少なくなっています。

（世帯構成別）



世帯構成別でみると、ふたり親世帯では「配偶者・パートナー」が 67.2%と突出しています。また、母子世帯とその他の世帯では「配偶者・パートナー」が少なく、「カウンセラーなどの専門家」が比較的多くなっています（「配偶者・パートナー」　母子世帯：12.3%、その他の世帯：27.2%、「カウンセラーなどの専門家」　母子世帯：9.8%、その他の世帯：10.8%）。

（問 21 の回答（「相談相手がいる」／「いないので欲しい」）別）



相談相手を問 21 の回答（「いる」／「いないので欲しい」）別でみると、「（相談相手が）いる」と回答した人（2,876 人）の実際の相談相手は、「友人・知人」68.4%が最も多く、以下「親、親戚、兄弟姉妹」67.1%、「配偶者・パートナー」65.1%、「子ども」16.5%となっています。

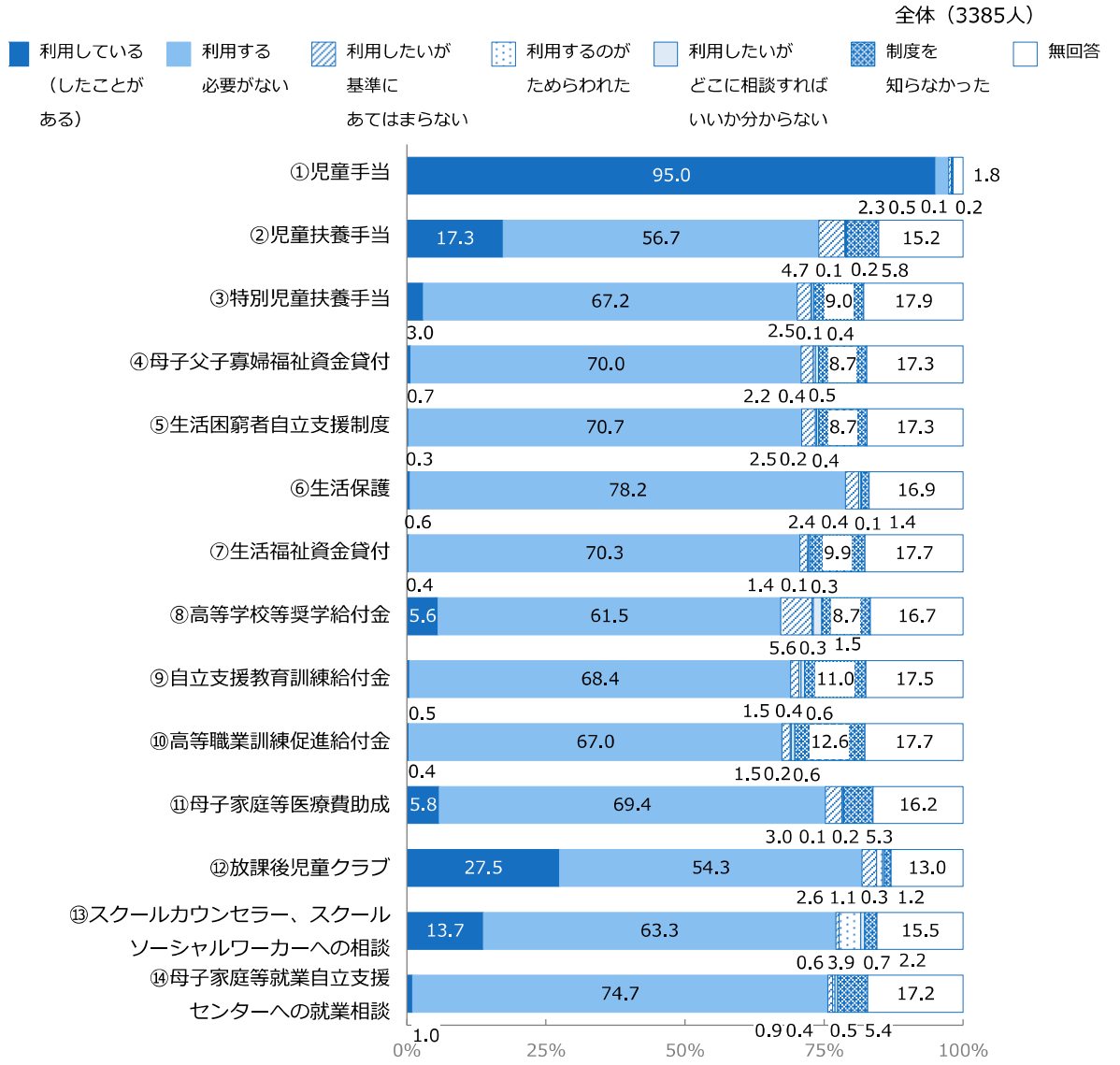
一方、「（相談相手が）いないので欲しい」と回答した人（249 人）の希望する相談相手は、「友人・知人」43.8%が最も多く、以下「カウンセラーなどの専門家」39.0%、「配偶者・パートナー」26.1%となっており、「（相談相手が）いないので欲しい」と回答した人では「カウンセラーなどの専門家」が突出しています。

5　各種支援・サービスについて

（１） 公的な支援制度の利用状況

問 22　以下の公的な支援制度について、利用したことがありますか。また、利用したことがない場合はその理由を教えてください。（それぞれあてはまるもの１つに○）

※制度内容は、同封の《参考情報》をご覧ください。



公的な支援制度の利用状況として、「利用している（したことがある）」との回答は、〔①児童手当〕95.0%で最も多く、大多数を占めています。以下、〔⑫放課後児童クラブ〕27.5%、〔②児童扶養手当〕17.3%、〔⑬スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーへの相談〕13.7%と続いています。

「利用したいが基準にあてはまらない」との回答は、〔⑧高等学校等奨学給付金〕5.6%と〔②児童扶養手当〕4.7%で比較的多くなっています。

「利用するのがためらわれた」との回答は、〔⑬スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーへの相談〕3.9%で比較的多くなっています。

「制度を知らなかった」との回答は、〔⑩高等職業訓練促進給付金〕12.6%で最も多く、以下〔⑨自立支援教育訓練促進給付金〕11.0%、〔⑦生活福祉資金貸付〕9.9%、〔③特別児童扶養手当〕9.0%、〔④母子父子寡婦福祉資金貸付〕〔⑤生活困窮者自立支援制度〕〔⑧高等学校等奨学給付金〕各8.7%と続き、１割前後を占めています。

（生活困難状況別・世帯構成別　「利用している」と『利用意向はあるが利用していない』と「制度を知らなかった」）

		全体（3385人）	生活困難状況別		世帯構成別			
			貧困層に相当する世帯（333人）	貧困層に相当しない世帯（2654人）	父子世帯（23人）	母子世帯（180人）	ふたり親世帯（2989人）	その他の世帯（180人）
「利用している」	①児童手当	95.0	97.9	95.9	91.3	96.1	95.2	96.1
	②児童扶養手当	17.3	**50.8**	13.6	34.8	**73.9**	11.8	**48.9**
	③特別児童扶養手当	3.0	5.1	2.4	-	7.2	2.7	3.9
	④母子父子寡婦福祉資金貸付	0.7	3.0	0.4	4.3	5.0	0.3	2.8
	⑤生活困窮者自立支援制度	0.3	1.2	0.1	-	2.2	0.2	-
	⑥生活保護	0.6	2.7	0.2	4.3	6.1	0.3	-
	⑦生活福祉資金貸付	0.4	1.5	0.2	4.3	1.7	0.3	-
	⑧高等学校等奨学給付金	5.6	14.1	4.6	8.7	**18.9**	4.7	8.3
	⑨自立支援教育訓練給付金	0.5	4.2	0.1	-	5.0	0.2	1.7
	⑩高等職業訓練促進給付金	0.4	2.1	0.1	-	4.4	0.2	-
	⑪母子家庭等医療費助成	5.8	**35.7**	2.2	17.4	**63.9**	1.4	**19.4**
	⑫放課後児童クラブ	27.5	30.3	27.7	4.3	**41.1**	27.0	25.0
	⑬スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーへの相談	13.7	15.3	13.6	-	13.3	14.0	13.3
	⑭母子家庭等就業自立支援センターへの就業相談	1.0	4.5	0.5	-	8.9	0.5	1.1

■ 全体よりも10ポイント以上多い

＊「利用している」

生活困難状況別でみると、貧困層に相当する世帯では〔②児童扶養手当〕50.8%、〔⑪母子家庭等医療費助成〕35.7%で比較的多くなっています。

世帯構成別でみると、母子世帯では〔②児童扶養手当〕73.9%、〔⑧高等学校等奨学給付金〕18.9%、〔⑪母子家庭等医療費助成〕63.9%、〔⑫放課後児童クラブ〕41.1%で、その他の世帯では〔②児童扶養手当〕48.9%、〔⑪母子家庭等医療費助成〕19.4%で比較的多くなっています。

		全体（3385人）	生活困難状況別		世帯構成別			
			貧困層に相当する世帯（333人）	貧困層に相当しない世帯（2654人）	父子世帯（23人）	母子世帯（180人）	ふたり親世帯（2989人）	その他の世帯（180人）
『利用意向はあるが利用していない』	①児童手当	0.6	0.3	0.6	4.3	0.6	0.6	0.6
	②児童扶養手当	5.1	7.5	5.0	8.7	**16.1**	3.7	**15.6**
	③特別児童扶養手当	3.0	6.6	2.7	13.0	10.6	2.3	5.6
	④母子父子寡婦福祉資金貸付	3.2	11.1	2.4	8.7	**17.8**	1.6	**14.4**
	⑤生活困窮者自立支援制度	3.0	9.0	2.4	8.7	11.7	2.4	3.9
	⑥生活保護	2.9	9.0	2.3	4.3	**15.0**	2.1	3.9
	⑦生活福祉資金貸付	1.8	5.4	1.4	8.7	9.4	1.3	1.1
	⑧高等学校等奨学給付金	7.4	14.1	6.8	21.7	15.6	6.6	12.8
	⑨自立支援教育訓練給付金	2.6	9.3	1.9	4.3	**13.9**	1.6	6.7
	⑩高等職業訓練促進給付金	2.3	7.5	1.8	13.0	10.0	1.6	5.0
	⑪母子家庭等医療費助成	3.3	9.6	2.7	13.0	**17.8**	1.4	**19.4**
	⑫放課後児童クラブ	4.0	6.9	3.7	13.0	8.3	3.7	3.3
	⑬スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーへの相談	5.2	10.2	4.9	8.7	10.0	4.7	8.9
	⑭母子家庭等就業自立支援センターへの就業相談	1.8	7.8	1.2	8.7	9.4	1.0	6.7

■ 全体よりも10ポイント以上多い

＊『利用意向はあるが利用していない』（「利用したいが基準にあてはまらない」＋「利用するのがためらわれた」＋「利用したいがどこに相談すればよいか分からない」）

世帯構成別でみると、母子世帯では〔②児童扶養手当〕16.1%、〔④母子父子寡婦福祉資金貸付〕17.8%、〔⑥生活保護〕15.0%、〔⑨自立支援教育訓練給付金〕13.9%、〔⑪母子家庭等医療費助成〕17.8%で、その他の世帯では〔②児童扶養手当〕15.6%、〔④母子父子寡婦福祉資金貸付〕14.4%、〔⑪母子家庭等医療費助成〕19.4%で比較的多くなっています。

		全体（3385人）	生活困難状況別		世帯構成別			
			貧困層に相当する世帯（333人）	貧困層に相当しない世帯（2654人）	父子世帯（23人）	母子世帯（180人）	ふたり親世帯（2989人）	その他の世帯（180人）
「制度を知らなかった」	①児童手当	0.2	0.3	0.2	-	-	0.3	-
	②児童扶養手当	5.8	4.8	5.8	21.7	1.7	5.8	8.9
	③特別児童扶養手当	9.0	15.6	8.3	26.1	**21.7**	7.8	13.9
	④母子父子寡婦福祉資金貸付	8.7	17.7	7.7	26.1	**28.3**	6.7	**20.6**
	⑤生活困窮者自立支援制度	8.7	**19.2**	7.6	26.1	**27.2**	7.1	15.0
	⑥生活保護	1.4	3.0	1.0	13.0	2.2	1.0	5.0
	⑦生活福祉資金貸付	9.9	18.9	9.1	21.7	**25.6**	8.3	19.4
	⑧高等学校等奨学給付金	8.7	16.2	7.6	17.4	**19.4**	7.5	16.7
	⑨自立支援教育訓練給付金	11.0	17.4	10.4	26.1	**25.0**	9.3	**22.8**
	⑩高等職業訓練促進給付金	12.6	19.2	11.9	26.1	**27.8**	10.9	**22.8**
	⑪母子家庭等医療費助成	5.3	4.5	5.2	13.0	2.2	4.9	12.8
	⑫放課後児童クラブ	1.2	2.4	0.9	17.4	1.1	1.0	3.9
	⑬スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーへの相談	2.2	5.7	1.7	17.4	6.1	1.7	5.0
	⑭母子家庭等就業自立支援センターへの就業相談	5.4	8.7	4.9	21.7	11.7	4.6	10.0

■ 全体よりも10ポイント以上多い

＊「制度を知らなかった」

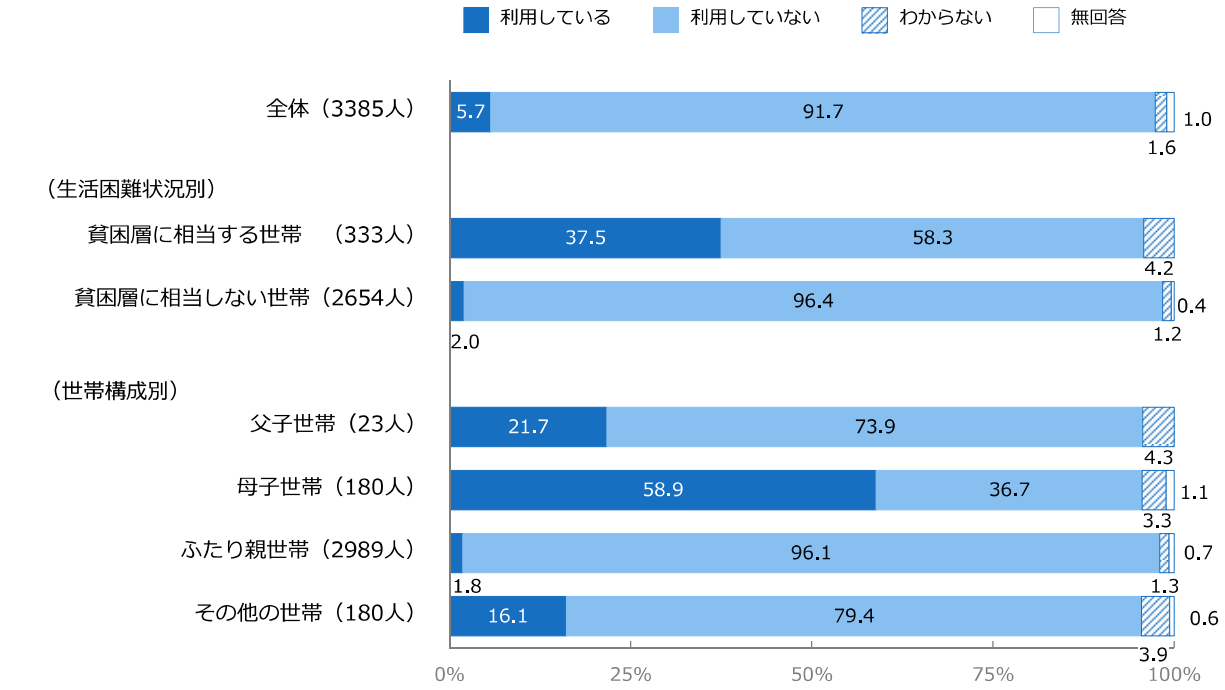
生活困難状況別でみると、貧困層に相当する世帯では〔⑤生活困窮者自立支援制度〕19.2%で比較的多くなっています。

世帯構成別でみると、母子世帯では〔③特別児童扶養手当〕21.7%、〔④母子父子寡婦福祉資金貸付〕28.3%、〔⑤生活困窮者自立支援制度〕27.2%、〔⑦生活福祉資金貸付〕25.6%、〔⑧高等学校等奨学給付金〕19.4%、〔⑨自立支援教育訓練給付金〕25.0%、〔⑩高等職業訓練促進給付金〕27.8%で、その他の世帯では〔④母子父子寡婦福祉資金貸付〕20.6%、〔⑨自立支援教育訓練給付金〕と〔⑩高等職業訓練促進給付金〕各22.8%で比較的多くなっています。

（２） 就学援助制度の利用状況

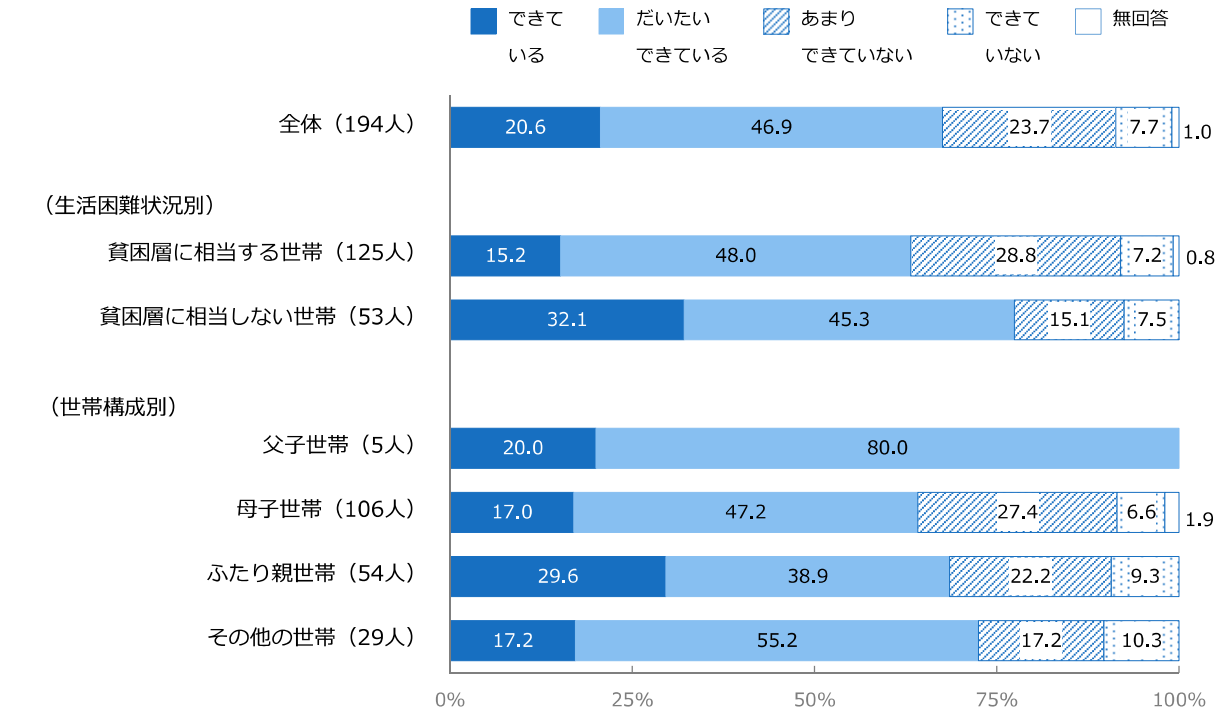
問 23　あなたのご家庭ではお子さまのために就学援助制度を利用していますか（１つに○）

※就学援助制度は、経済的理由で小・中学生の子どもの就学に困っている保護者に対し、学用品費や給食費などの費用の一部を援助する制度です。



（問 23 で「１」を選んだ方にお伺いします。）

問 23-1　現在の就学援助は学校にかかる経費をカバーできていますか（1 つに○）



就学援助制度の利用の状況は、「利用していない」91.7%が最も多く９割以上を占め、「利用している」5.7%は１割未満となっています。

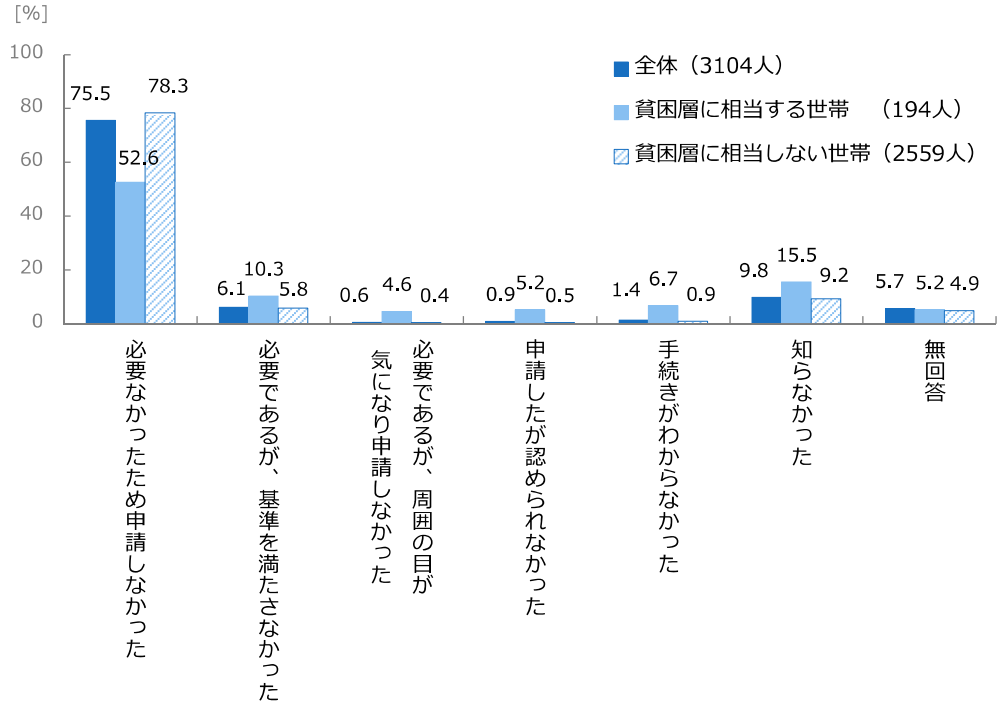
生活困難状況別でみると、貧困層に相当する世帯では「利用している」37.5%が比較的多くなっています。

世帯構成別でみると、母子世帯では「利用している」58.9%が突出しています。また、その他の世帯でも「利用している」16.1%が比較的多くなっています。

就学援助制度を利用している人（194 人）の、**現在の就学援助が学校にかかる経費をカバーできているか**については、「だいたいできている」46.9%が最も多く、以下「あまりできていない」23.7%、「できている」20.6%となっています。「できている」と「だいたいできている」を合わせた『できている』は 67.5%、「あまりできていない」と「できていない」を合わせた『できていない』は 31.4%となっています。

（問 23 で「２」を選んだ方にお伺いします。）

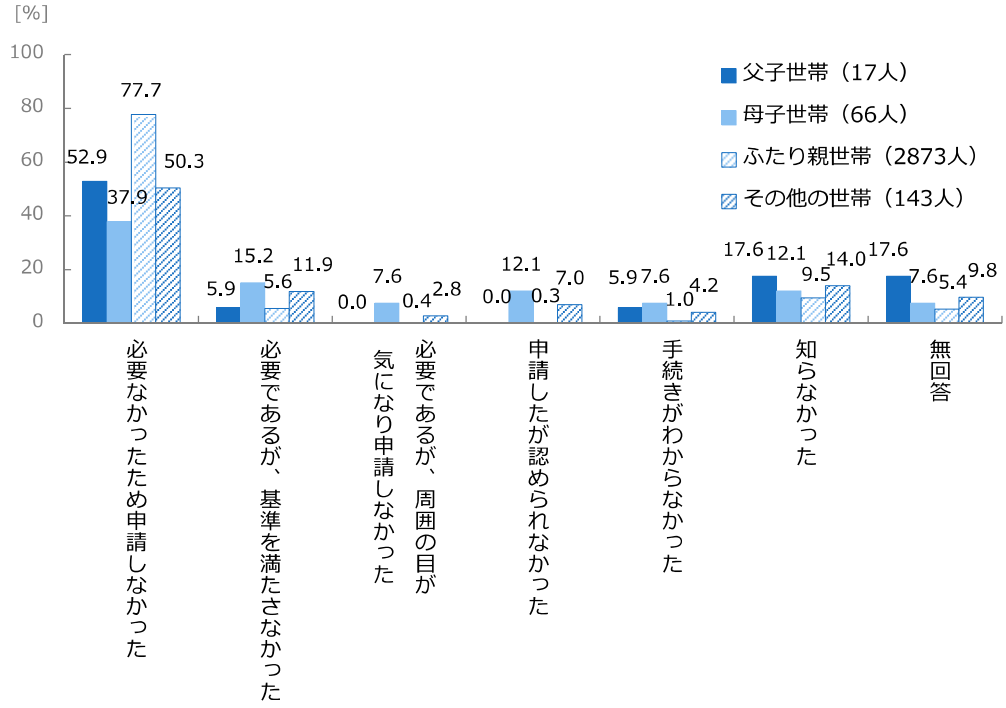
問 23-2　現在、就学援助を利用していない理由はなんですか（１つに○）



現在、就学援助制度を利用していない人（3,104 人）の**就学援助を利用していない理由**は、「必要なかったため申請しなかった」75.5%が最も多く、約４分の３を占めています。以下「知らなかった」9.8%、「必要であるが、基準を満たさなかった」6.1%となっています。

生活困難状況別でみると、貧困層に相当する世帯では「必要なかったため申請しなかった」52.6%が少なく、「知らなかった」15.5%、「必要であるが、基準を満たさなかった」10.3%が比較的多くなっています。

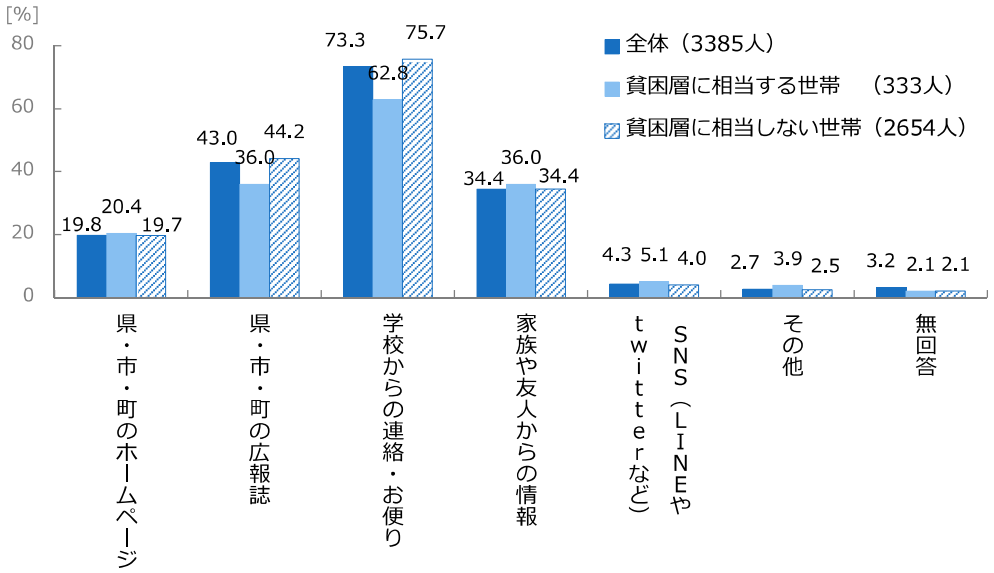
（世帯構成別）



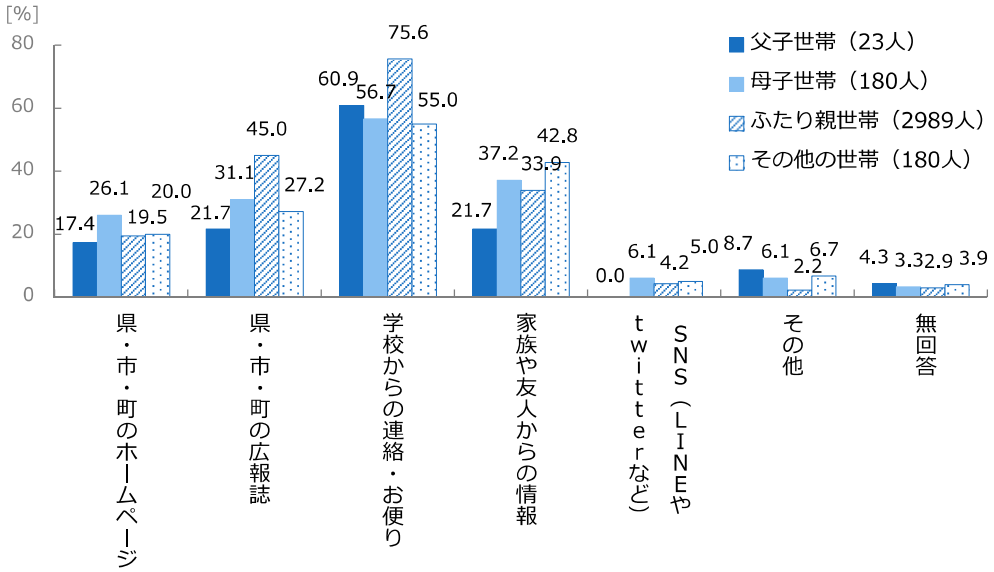
世帯構成別でみると、母子世帯とその他の世帯では「必要なかったため申請しなかった」が少なく、「必要であるが、基準を満たさなかった」と「申請したが認められなかった」が比較的多くなっています（「必要なかったため申請しなかった」　母子世帯：37.9%、その他の世帯：50.3%、「必要であるが、基準を満たさなかった」　母子世帯：15.2%、その他の世帯：11.9%、「申請したが認められなかった」　母子世帯：12.1%、その他の世帯：7.0%）。

（３） 現在利用している子育てなどに関する公的な支援制度の情報入手媒体

問 24　あなたは、子育てなどに関する公的支援制度の情報をどのようにして入手していますか。（あてはまるものすべてに○）



（世帯構成別）



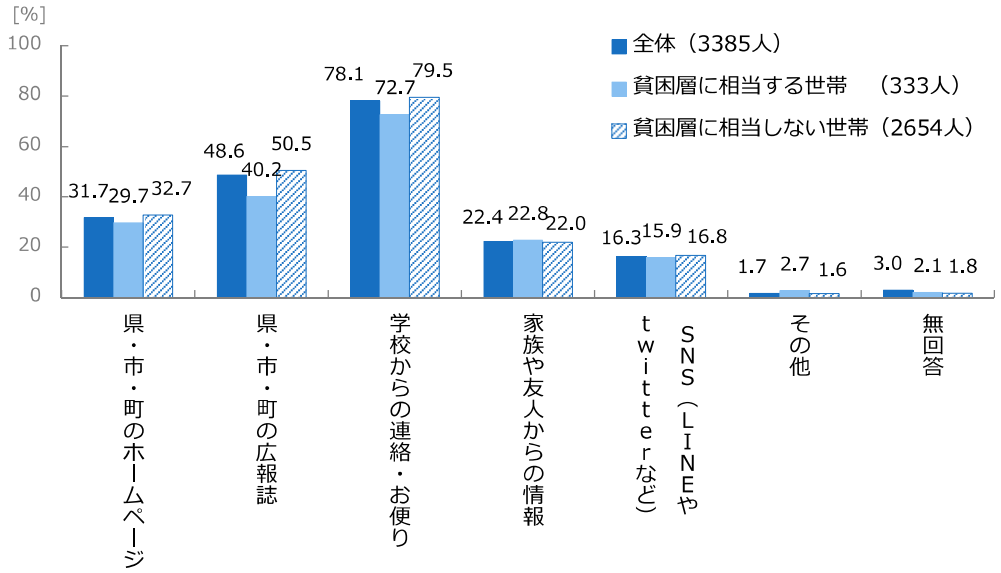
現在利用している子育てなどに関する公的支援制度の情報入手媒体は、「学校からの連絡・お便り」73.3%が最も多く、以下「県・市・町の広報誌」43.0%、「家族や友人からの情報」34.4%、「県・市・町のホームページ」19.8%となっています。

生活困難状況別でみると、貧困層に相当する世帯では「県・市・町の広報誌」36.0%、「学校からの連絡・お便り」62.8%が比較的少なくなっています。

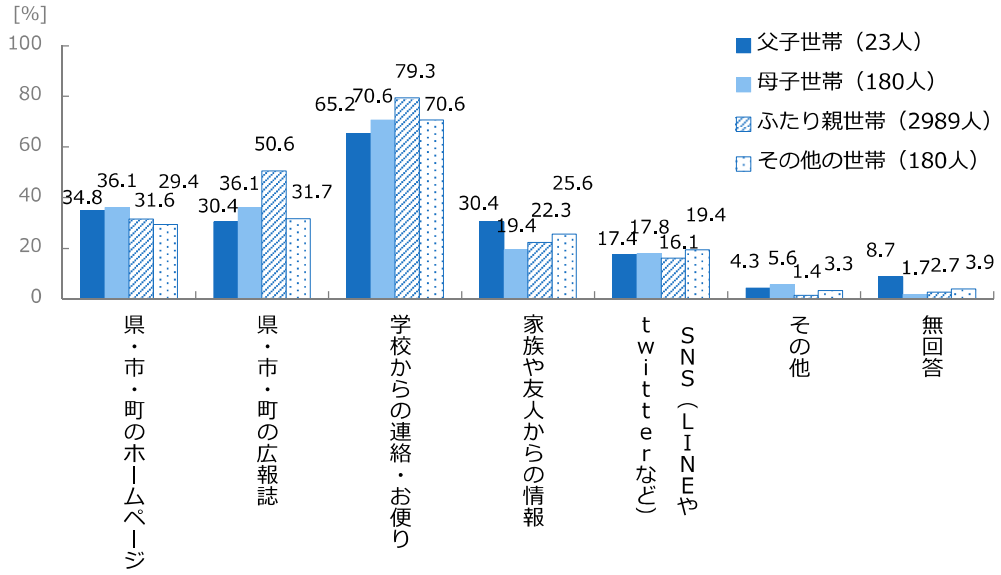
世帯構成別でみると、母子世帯とその他の世帯では「県・市・町の広報誌」と「学校からの連絡・お便り」が比較的少なくなっています（「県・市・町の広報誌」　母子世帯：31.1%、その他の世帯：27.2%、「学校からの連絡・お便り」　母子世帯：56.7%、その他の世帯：55.0%）。

（４） 今後利用したい子育てなどに関する公的な支援制度の情報入手媒体

問 25　あなたは、子育てなどに関する公的な支援制度を、今後どのような方法で情報を入手したいと思いますか、またはできたら良いと思いますか。（あてはまるものすべてに○）



（世帯構成別）

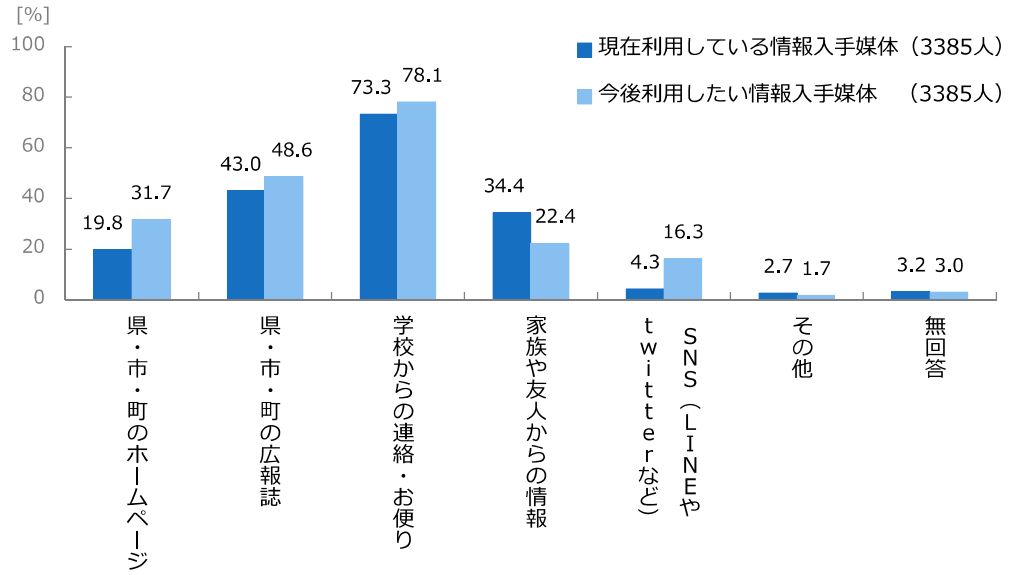


今後利用したい子育てなどに関する公的支援制度の情報入手媒体は、「学校からの連絡・お便り」78.1%が最も多く、以下「県・市・町の広報誌」48.6%、「県・市・町のホームページ」31.7%、「家族や友人からの情報」22.4%、「ＳＮＳ（ＬＩＮＥやｔｗｉｔｔｅｒなど）」16.3%となっています。

生活困難状況別でみると、貧困層に相当する世帯では「県・市・町の広報誌」40.2%が比較的少なくなっています。

世帯構成別でみると、母子世帯とその他の世帯では「県・市・町の広報誌」と「学校からの連絡・お便り」が比較的少なくなっています（「県・市・町の広報誌」　母子世帯：36.1%、その他の世帯：31.7%、「学校からの連絡・お便り」　母子世帯・その他の世帯：各 70.6%）。

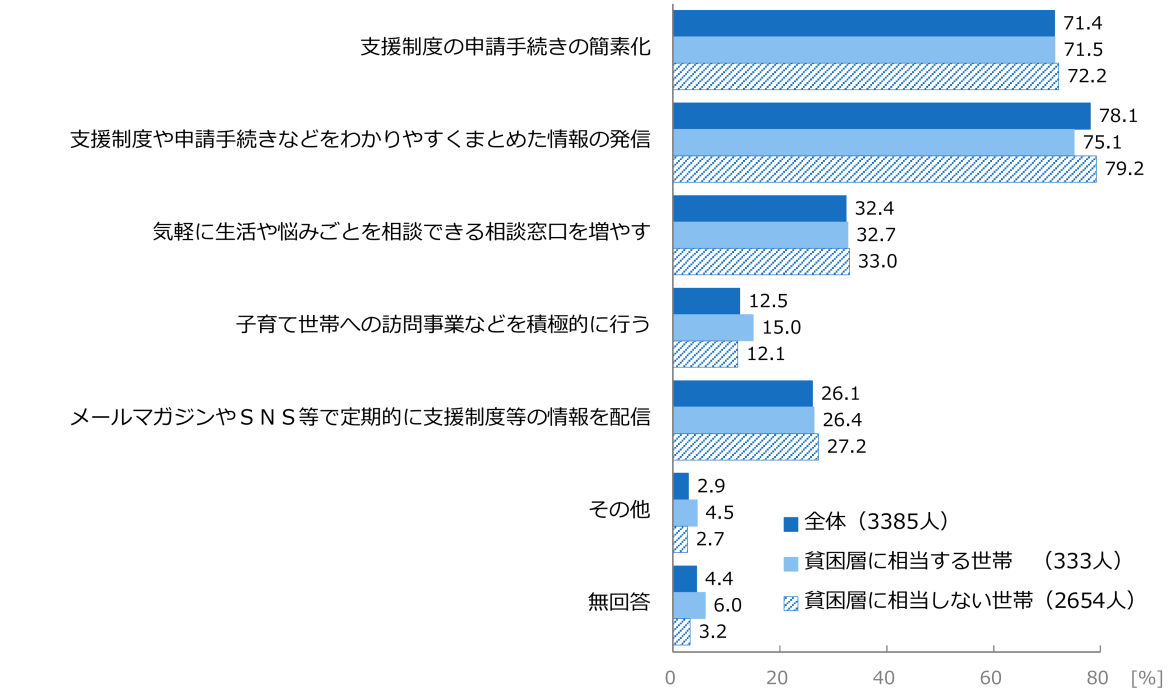
（問 24 現在利用している情報入手媒体と問 25 今後利用したい情報入手媒体の比較）



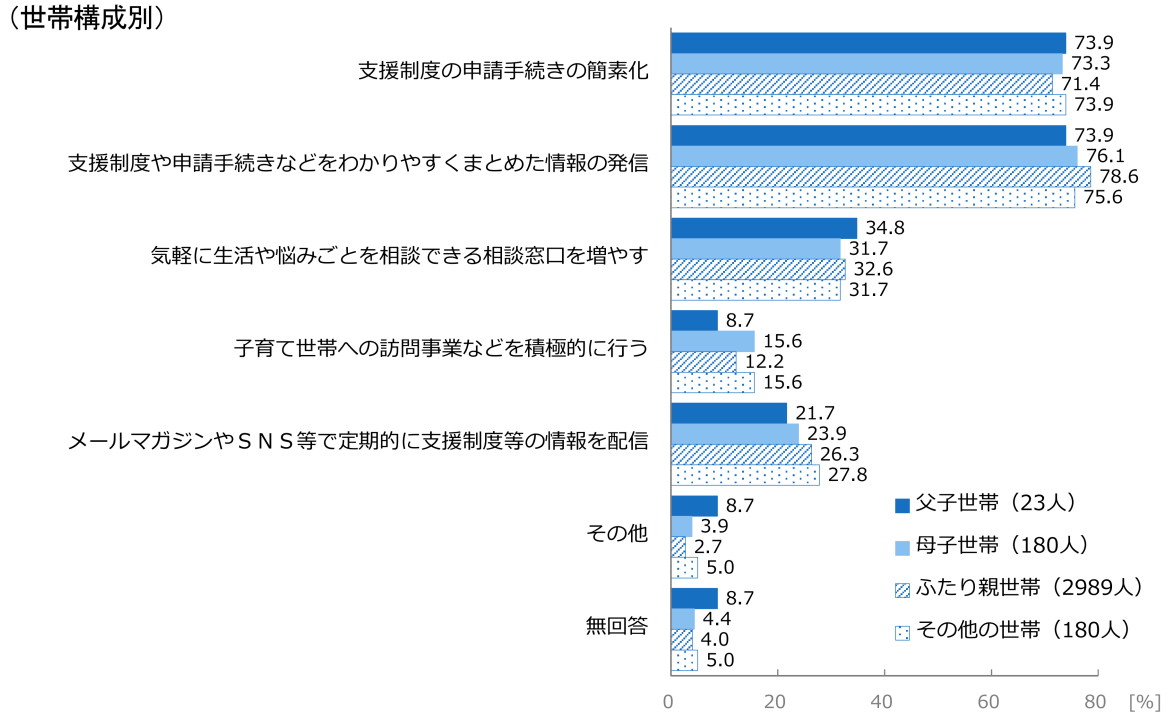
問 24 の現在利用している情報入手媒体と問 25 の今後利用したい情報入手媒体を比較すると、今後利用したい情報入手媒体では「ＳＮＳ（LINE や Twitter など）」と「県・市・町のホームページ」が、現在利用している情報入手媒体での回答を約 12 ポイント上回っています。（ＳＮＳ（LINE や Twitter など）：12 ポイント差、県・市・町のホームページ：11.9 ポイント差）。

（５） 必要な公的な支援制度をもれなく受けられるようにするために重要だと思うこと

問 26　公的な支援制度など、必要な支援をもれなく受けられるようにするには何が重要だと思いますか。（あてはまるものすべてに○）



（世帯構成別）

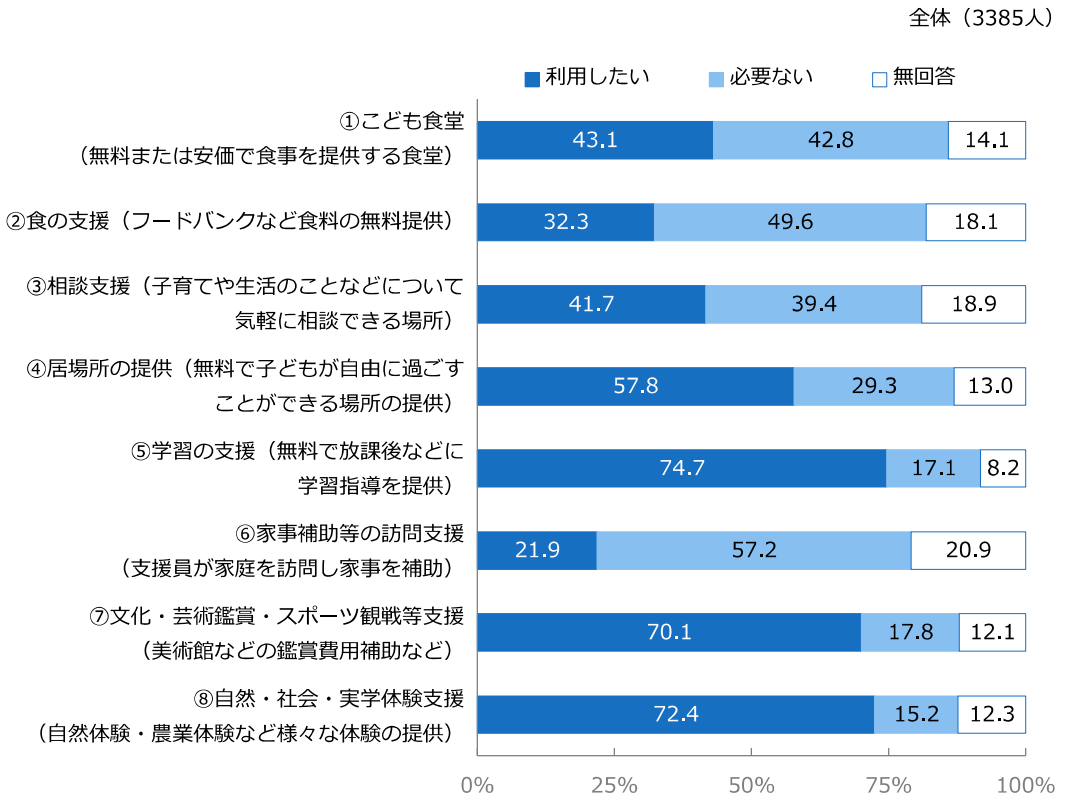


必要な公的支援制度をもれなく受けられるようにするために重要だと思うことでは、「支援制度や申請手続きなどをわかりやすくまとめた情報の発信」78.1%が最も多く、以下「支援制度の申請手続きの簡素化」71.4%、「気軽に生活や悩みごとを相談できる相談窓口を増やす」32.4%、「メールマガジンやＳＮＳ等で定期的に支援制度等の情報を配信」26.1%、「子育て世帯への訪問事業などを積極的に行う」12.5%となっています。

生活困難状況別、世帯構成別、学年別による差はあまりみられていません。

（６） 子どもや子育てに関する支援施策の利用意向

問 27　あなたは次のような支援があったら利用したいと思いますか。（それぞれあてはまるものに〇）



子どもや子育てに関する各種支援策の利用意向として、「利用したい」との回答は、〔⑤学習の支援（無料で放課後などに学習指導を提供)〕74.7%で最も多く、以下〔⑧自然・社会・実学体験支援（自然体験・農業体験・仕事体験など様々な体験の提供)〕72.4%、〔⑦文化・芸術鑑賞・スポーツ観戦等支援（美術館、博物館・スポーツなどの鑑賞・観戦費用補助など)〕70.1%、〔④居場所の提供（無料で子どもが自由に過ごすことができる場所の提供)〕57.8%と続いています。

一方、「必要ない」との回答は、〔⑥家事補助等の訪問支援（家事や育児等が困難な場合に支援員が家庭を訪問し家事を補助)〕57.2%で最も多く、以下〔②食の支援（フードバンクなど食料の無料提供)〕49.6%、〔①こども食堂（無料または安価で食事を提供する食堂)〕42.8%、〔③相談支援（子育てや生活のことなどについて気軽に相談できる場所)〕39.4%と続いています。

（生活困難状況別・世帯構成別　「利用意向あり」と「利用意向なし」）

		全体（3385人）	生活困難状況別		世帯構成別			
			貧困層に相当する世帯（333人）	貧困層に相当しない世帯（2654人）	父子世帯（23人）	母子世帯（180人）	ふたり親世帯（2989人）	その他の世帯（180人）
利用意向あり	①こども食堂（無料または安価で食事を提供する食堂）	43.1	**52.6**	41.9	39.1	**55.6**	42.7	41.7
	②食の支援（フードバンクなど食料の無料提供）	32.3	**48.0**	30.1	34.8	**51.7**	31.0	36.7
	③相談支援（子育てや生活のことなどについて気軽に相談できる場所）	41.7	42.6	42.0	47.8	**35.6**	42.4	38.3
	④居場所の提供（無料で子どもが自由に過ごすことができる場所の提供）	57.8	56.8	58.1	43.5	55.6	58.7	**48.9**
	⑤学習の支援（無料で放課後などに学習指導を提供）	74.7	78.1	74.6	73.9	76.1	74.9	72.2
	⑥家事補助等の訪問支援（支援員が家庭を訪問し家事を補助）	21.9	23.4	22.0	30.4	25.0	21.8	21.7
	⑦文化・芸術鑑賞・スポーツ観戦等支援（美術館などの鑑賞費用補助など）	70.1	**61.3**	71.9	56.5	**60.6**	71.3	66.7
	⑧自然・社会・実学体験支援（自然体験・農業体験など様々な体験の提供）	72.4	**66.1**	74.2	65.2	**67.2**	73.6	**62.2**
利用意向なし	①こども食堂（無料または安価で食事を提供する食堂）	42.8	**31.8**	45.2	34.8	**30.6**	43.9	42.2
	②食の支援（フードバンクなど食料の無料提供）	49.6	**34.8**	52.6	39.1	**33.3**	51.1	45.6
	③相談支援（子育てや生活のことなどについて気軽に相談できる場所）	39.4	36.6	40.3	26.1	42.8	39.3	42.8
	④居場所の提供（無料で子どもが自由に過ごすことができる場所の提供）	29.3	26.4	30.2	34.8	28.3	29.0	**36.1**
	⑤学習の支援（無料で放課後などに学習指導を提供）	17.1	12.3	18.1	13.0	12.8	17.6	16.1
	⑥家事補助等の訪問支援（支援員が家庭を訪問し家事を補助）	57.2	52.9	58.4	43.5	52.8	57.7	58.9
	⑦文化・芸術鑑賞・スポーツ観戦等支援（美術館などの鑑賞費用補助など）	17.8	**24.0**	17.3	26.1	**25.6**	17.1	21.1
	⑧自然・社会・実学体験支援（自然体験・農業体験など様々な体験の提供）	15.2	18.3	14.8	21.7	19.4	14.7	**21.1**

全体よりも５ポイント以上多い　　全体よりも５ポイント以上少ない

※上記の表では全体よりも５ポイント以上多いものと全体よりも５ポイント以上少ないものに色付けしていますが、この間では１つの属性において「利用意向あり」が多ければ「利用意向なし」が少なくなり、「利用意向あり」が少なければ「利用意向なし」が多くなる傾向があるため、下記のコメントでは全体よりも５ポイント以上多いものについてのみ記載し、全体よりも５ポイント以上少ないものについては割愛するものとします。

＊「利用意向あり」（「利用したい」）

生活困難状況別でみると、貧困層に相当する世帯では〔①こども食堂（無料または安価で食事を提供する食堂）〕52.6%、〔②食の支援（フードバンクなど食料の無料提供）〕48.0%で比較的多くなっています。

世帯構成別でみると、母子世帯では〔①こども食堂（無料または安価で食事を提供する食堂）〕55.6%、〔②食の支援（フードバンクなど食料の無料提供）〕51.7%で比較的多くなっています。

＊「利用意向なし」（「必要ない」）

生活困難状況別でみると、貧困層に相当する世帯では〔⑦文化・芸術鑑賞・スポーツ観戦等支援（美術館、博物館・スポーツなどの鑑賞・観戦費用補助など）〕24.0%で比較的多くなっています。

世帯構成別でみると、母子世帯では〔⑦文化・芸術鑑賞・スポーツ観戦等支援（美術館、博物館・スポーツなどの鑑賞・観戦費用補助など）〕25.6%で、その他の世帯では〔④居場所の提供（無料で子どもが自由に過ごすことができる場所の提供）〕36.1%、〔⑧自然・社会・実学体験支援（自然体験・農業体験・仕事体験など様々な体験の提供）〕21.1%で比較的多くなっています。

（7） 子どもたちが健やかに育っていくために必要な支援等への意見・要望（自由意見）

問 28　子どもたちがこれからも健やかに育っていくために必要だと思う支援等についてご意見やご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

子どもたちがこれからも健やかに育っていくために必要だと思う支援等についていただいたご意見やご要望 1,223 件を内容ごとに分類したところ、以下のようにまとまりました。

分類名	件数
必要とされる支援・サービス全般についての要望	238
学校	197
子どもの遊ぶ場所、安全に過ごせる場所、交流する場・機会	100
高校・大学の無償化、支援など	82
教育にかかる費用の支援・無償化など	55
居場所の提供	52
学習支援	46
ひとり親への支援	46
児童手当	43
学童・放課後児童クラブ	41
子どもが安心・安全に暮らせる社会・環境づくり	40
相談支援体制	39
医療費（予防接種等含む）	38
アンケート	24
図書館・児童館	18
体育館・運動施設、スポーツ	16
就労環境の改善・見直し	14
いじめ	13
その他	121
合計	1,223

最も多かったのは「必要とされる支援・サービス全般についての要望」についてのご意見やご要望で 238 件でした。ついで、「学校」が 197 件、「子どもの遊ぶ場所、安全に過ごせる場所、交流する場・機会」が 100 件、「高校・大学の無償化、支援など」が 82 件、「教育にかかる費用の支援・無償化など」が 52 件となっています。

「必要とされる支援・サービスについての要望」についてのご意見・ご要望について細かくみていくと、「子ども食堂」についてのご意見やご要望が 23 件と最も多く、ついで、「情報の周知・提供」が 21 件、「親への支援・教育」が 18 件、「親・家庭への支援・環境づくり」が 16 件となっています。

「学校」についてのご意見・ご要望について細かくみていくと、「登下校時のパトロール・通学路」についてのご意見やご要望が 29 件と最も多く、ついで、「先生・教員について」が 25 件、「部活動」が 19 件となっています。

「子どもの遊ぶ場所、安全に過ごせる場所、交流する場・機会」についてのご意見・ご要望について細かくみていくと、「公園」についてのご意見やご要望が 37 件と最も多く、ついで、「子どもが安心・安全な場所」が 21 件、「室内の施設」が 9 件となっています。

「高校・大学の無償化、支援など」についてのご意見・ご要望について細かくみていくと、「支援」についてのご意見やご要望が 53 件、「無償化」が 29 件となっています。

「教育にかかる費用の支援・無償化など」についてのご意見・ご要望について細かくみていくと、「制服や給食費、修学旅行などの費用」についてのご意見やご要望が 24 件、「学費」が 18 件となっています。